平成25年度 「市民生活実感調査」に 係る分析結果

平成26年8月

「未来の京都創造研究事業」

公益財団法人 大学コンソーシアム京都・京都市

目 次

はじ	こめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
Ι	平成 25 年度市民生活実感調査の概要について・・・・・・・・ P 3 < 資料 1 >
П	生活実感、政策重要度、市政関心度、幸福実感の回答結果について ・・P7 <資料2>
Ш	統計的分析手法を用いた分析について・・・・・・・・・P15
1	生活実感における過去2年平均との比較について・・・・・・・P17 <資料3>
2	政策重要度と生活実感による政策優先度の検討について・・・・・P20 <資料4>
3	生活実感と幸福実感における相関について・・・・・・・・・P 2 9 <資料 5 >
4	自由記述の分析について・・・・・・・・・・・・・P32
IV	政策分野別の考察について・・・・・・・・・・・・P35 <資料6>
まっす	- でがに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

はじめに

「未来の京都創造研究事業」は、「大学のまち・京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目指して公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が平成23年度から始めた共同事業である。

本事業の一環として、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うための貴重な情報を得ることを目的に、市が実施している「市民生活実感調査」のデータ分析も行っている。

最初に分析を行った23年度は「生活実感」「政策の重要度」「市政への関心度」の3種類の調査項目における属性(「世代別・性別」と「居住区別」)ごとの分析を行った。

翌24年度は「生活実感」「政策の重要度」「市政への関心度」の2年度分の回答の変化、「自由記述」の単年度の分析、24年度から新しく設定された「幸福実感」を分析し、さらには調査項目間のクロス分析も実施した。

25年度は回答者の属性として「世代別・性別」にもとづき、「生活実感」と「市政への関心度」の3年度分の回答の変化、「幸福実感」の2年度分の回答の変化、「自由記述」の単年度の分析、また「政策の重要度」は25年度に様式が一新されたため単年度の分析をそれぞれ行った。さらに24年度に引き続き調査項目間のクロス分析を実施するとともに、新たに政策分野ごとの分析を加えた。

ただし、属性ごとの分析には一定のサンプル数が必要であるため、本分析では市全体と 世代別・性別のみを対象として分析を行った。居住区別の集計結果等は、別途、当財団の ホームページで掲載するので、そちらをご覧いただきたい。

今年度の分析は、3年度分のデータを活用しており、これまで以上に信頼性のある分析ができたと考える。市の担当部署においては、分析結果についてその要因を検討し、今後の事業等に生かしていただくことを期待する。

また、京都市民のみなさんには、これらの分析結果をまちづくり活動等に生かしていただければ幸いである。特に京都に数多くいる学生には、この分析結果を材料としてゼミ活動や研究等に生かしていただくことを期待する。

「市民生活実感調査」とは…

市の政策評価制度の一環として、市基本計画に掲げる政策・施策がどの程度達成されているかについて市民の方々の実感を把握するため、生活実感、政策重要度、市政関心度、幸福実感、自由記述、の5項目の調査を平成16年度から毎年、市が行っている。

I 平成25年度市民生活実感調査の概要について

I 平成25年度市民生活実感調査の概要について

平成25年度市民生活実感調査の概要は、以下のとおりである。

1 調査対象

20歳以上の京都市民3,000人(住民基本台帳と外国人登録データから無作為抽出)を対象に郵送で調査票を送付し回収したものである。

2 調査期間

平成25年5月13日~6月15日

3 回収状況<資料1>

有効回答数1,137(回収率37.9%)

4 調査項目

- (1) 生活実感
- (2) 政策重要度
- (3) 市政関心度
- (4)幸福実感
- (5) 自由記述

5 回答者の属性

本分析で用いた属性は、回答者の年代と性別を一つにまとめた「世代別・性別」である。

- ・若年層男性...20歳代・30歳代の男性
- ・若年層女性…20歳代・30歳代の女性
- ・中年層男性…40歳代・50歳代の男性
- ・中年層女性…40歳代・50歳代の女性
- ・高年層男性…60歳代・70歳代・80歳以上の男性
- ・高年層女性…60歳代・70歳代・80歳以上の女性

なお、市民生活実感調査では、世代や性別の属性以外にもお住まいの行政区を回答 していただいている。しかし、母数が少ない区もあり、適切な分析ができないため、 「居住区別」の集計結果等を当財団のホームページに掲載するにとどめている。

平成25年度市民生活実感調査の属性別の回答状況

【世代別·性別】

世代別・性別	平成2	3年度	平成2	4年度	平成25年度			
压化剂。压剂	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比	有効回答数	構成比		
市全体	1,157	-	1,186	-	1,137	-		
若年層男性	90	8.0%	90	7.8%	84	7.6%		
若年層女性	165	14.7%	182	15.7%	165	14.9%		
中年層男性	134	11.9%	159	13.8%	115	10.4%		
中年層女性	218	19.4%	218	18.9%	209	18.9%		
高年層男性	208	18.5%	232	20.1%	231	20.8%		
高年層女性	307	27.4%	275	23.8%	304	27.4%		

[※]年齢や性別の未回答者がいるため、市全体と世代別・性別の合計数は一致しない。

Ⅲ 生活実感、政策重要度、市政関心度、幸福実感の 回答結果について

Ⅱ 生活実感、政策重要度、市政関心度、幸福実感の回答結果について

平成25年度市民生活実感調査における四つの調査項目の結果概要は、以下のとおりである。

1 生活実感<資料2:P10>

この調査は、現在の市民生活がどうなっているかを把握するため、京都市政に係る27の政策 分野の中でも、「利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。」など合計130の設問について、 「そう思う」「どちらかというとそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」の5段階で回答したものである(どれにもあてはまらない場合は無回答)。

回答結果を肯定的割合で見ると、今年度は中年層男性の低さが目立った。また、過去2年 (平成23年度・24年度)の平均と比べると、市全体においてはほとんど変わらなかったが、 若年層男性と中年層女性が上昇した。

2 政策重要度<資料2:P11>

この調査は、京都市政に係る27の政策分野のそれぞれの重要度を把握するため、「重要である」「どちらかというと重要である」「どちらとも言えない」「どちらかというと重要ではない」「重要ではない」の5段階で回答したものである(どれにもあてはまらない場合は無回答)。

回答結果を肯定的割合で見ると、全体を通して「消防・防災」、「くらしの水」、「環境」が上位で目立ち、「土地利用と都市機能配置」、「スポーツ」、「大学」が下位で目立った。

※今年度から新しい回答方式をとっており、過去との比較はできない。

3 市政関心度<資料2:P12>

この調査は、市政に対する関心度合を把握するため、「関心がある」「少しは関心がある」「あまり関心がない」「まったく関心がない」「わからない」の5段階で回答したものである(どれにもあてはまらない場合は無回答)。

回答結果を肯定的割合で見ると、今年度は中年層女性が高い一方、若年層女性が低かった。また、過去2年(23年度・24年度)の平均と比べると、市全体においては下降し、ほとんどの世代別・性別でも下降したが、中年層女性のみ上昇した。

4 幸福実感<資料2:P13>

この調査は、市民の幸福実感を把握するため、「とても幸せだと思う」「どちらかというと幸せだと思う」「どちらとも言えない」「どちらかというと幸せではないと思う」「不幸せだと思う」の5段階で回答した結果である(どれにもあてはまらない場合は無回答)。

回答結果を肯定的割合で見ると、今年度は若年層女性と中年層女性が高い一方、中年層男性、 高年層男性、高年層女性が低かった。また昨年度(24年度)と比べると、市全体においては昨 年度とほぼ同じであったが、中年層男性が上昇した一方、高年層女性が下降した。

※平成24年度から実施しており、過去2年間の平均との比較はできない。

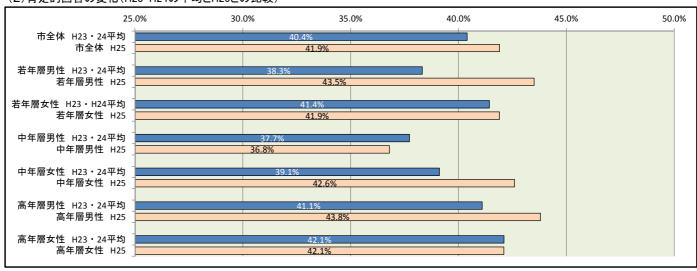
肯定的割合とは、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」など回答者が肯定的に捉えている ものを足し合わせた割合である。

1 生活実感

(1)3年間の集計

	そう思う			どちらかというとそう思う		どちら	どちらとも言えない		どちらかというとそう思わない			そ	う思わな	い		無回答		
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25
市全体	11.2%	10.6%	11.9%	30.5%	28.5%	30.0%	33.1%	30.1%	29.3%	12.3%	12.8%	12.0%	6.5%	7.0%	6.0%	6.3%	11.0%	10.7%
若年層男性	11.7%	10.6%	13.8%	28.7%	25.7%	29.7%	30.6%	29.7%	30.7%	15.6%	13.3%	13.7%	11.9%	9.0%	7.3%	1.6%	8.6%	4.9%
若年層女性	10.4%	12.7%	12.8%	29.5%	30.3%	29.1%	34.6%	28.6%	27.2%	13.9%	12.3%	12.4%	6.7%	7.3%	7.5%	4.9%	8.8%	11.0%
中年層男性	9.1%	9.1%	8.8%	29.3%	28.0%	28.0%	37.2%	34.8%	34.4%	14.6%	15.9%	14.8%	8.7%	8.6%	7.7%	1.2%	3.5%	6.3%
中年層女性	8.0%	9.2%	9.9%	31.3%	29.8%	32.7%	35.6%	32.0%	32.5%	13.5%	13.0%	12.4%	7.7%	7.0%	6.1%	3.9%	9.0%	6.4%
高年層男性	10.7%	10.6%	12.8%	32.9%	28.1%	31.0%	34.4%	31.7%	30.1%	12.6%	14.2%	11.8%	4.5%	5.9%	5.2%	4.9%	9.4%	9.1%
高年層女性	13.6%	10.5%	12.9%	31.0%	29.0%	29.2%	31.1%	25.7%	26.0%	9.7%	9.8%	10.2%	4.3%	5.4%	4.9%	10.2%	19.5%	16.8%

(2)肯定的回答の変化(H23·H24の平均とH25との比較)



2 政策重要度

	市全	体	若年層	男性	若年層	女性	中年層	男性	中年層:	女性	髙年層	男性	髙年層	女性_
政策分野	肯定的 回答	順位												
環境	88.7%	3	83.3%	6	92.7%	1	85.2%	3	91.9%	3	85.7%	7	89.8%	3
人権・男女共同参画	81.6%	11	66.7%	23	89.1%	3	74.8%	16	84.2%	10	83.1%	12	81.9%	14
青少年の成長と参加	82.2%	10	72.6%	19	82.4%	8	80.9%	8	85.6%	6	82.7%	14	82.6%	12
市民生活とコミュニティ	81.3%	12	79.8%	8	78.2%	14	80.0%	10	80.9%	15	85.3%	8	81.3%	15
市民生活の安全	88.1%	4	84.5%	5	86.1%	5	87.0%	2	89.5%	4	90.9%	3	87.8%	6
文化	77.1%	17	75.0%	16	72.7%	16	77.4%	14	79.4%	17	77.5%	19	78.0%	21
スポーツ	63.9%	26	60.7%	26	52.1%	27	59.1%	27	64.6%	26	73.6%	25	63.8%	26
産業・商業	70.6%	23	78.6%	10	59.4%	25	73.0%	18	71.3%	23	77.1%	21	67.8%	25
観光	77.7%	16	78.6%	10	67.9%	18	73.0%	18	75.6%	21	81.8%	16	82.6%	12
農林業	70.5%	24	66.7%	23	65.5%	22	71.3%	20	69.9%	25	71.0%	26	74.0%	23
大学	68.2%	25	63.1%	25	53.3%	26	67.0%	24	71.3%	23	75.3%	23	70.7%	24
国際化	75.7%	19	75.0%	16	66.7%	21	70.4%	22	80.4%	16	77.5%	19	78.6%	20
子育て支援	85.4%	5	88.1%	1	88.5%	4	81.7%	5	84.2%	10	84.8%	9	85.9%	9
障害者福祉	85.1%	6	75.0%	16	82.4%	8	80.9%	8	86.6%	5	86.6%	4	88.8%	4
地域福祉	72.6%	22	72.6%	19	62.4%	24	71.3%	20	77.5%	18	74.0%	24	77.3%	22
高齢者福祉	78.6%	15	70.2%	21	67.9%	18	78.3%	13	81.3%	13	82.3%	15	84.5%	10
保健衛生・医療	84.8%	7	81.0%	7	84.2%	6	81.7%	5	85.2%	8	86.6%	4	87.8%	6
学校教育	84.7%	8	86.9%	4	81.8%	11	80.0%	10	85.6%	6	86.1%	6	88.5%	5
生涯学習	77.0%	18	76.2%	14	75.2%	15	70.4%	22	77.0%	19	81.4%	17	80.6%	17
歩くまち	73.3%	21	69.0%	22	67.3%	20	66.1%	25	72.2%	22	77.9%	18	80.3%	18
土地利用と都市機能配置	62.5%	27	60.7%	26	64.2%	23	60.0%	26	61.7%	27	67.1%	27	63.2%	27
景観	80.6%	13	78.6%	10	79.4%	12	80.0%	10	81.8%	12	83.5%	10	80.9%	16
建築物	80.6%	13	77.4%	13	79.4%	12	76.5%	15	81.3%	13	83.1%	12	83.2%	11
住宅	75.5%	20	76.2%	14	70.3%	17	74.8%	16	76.1%	20	76.6%	22	79.3%	19
道と緑	83.6%	9	79.8%	8	82.4%	8	81.7%	5	84.7%	9	83.5%	10	87.8%	6
消防・防災	90.9%	1	88.1%	1	89.7%	2	90.4%		93.3%	1	93.1%	1	91.8%	2
くらしの水	90.1%	2	88.1%	1	84.2%	6	85.2%	3	93.3%	1	93.1%	1	93.8%	=
平均	78.9%		76.0%		75.0%		76.2%		80.2%		81.5%		81.2%	

3 市政関心度

(1)3年間の集計

	関心がある		る	少しは関心がある		あまり関心がない		まったく関心がない			わからない				無回答			
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25
市全体	35.8%	33.1%	34.5%	47.3%	46.5%	43.7%	8.5%	10.3%	8.6%	1.3%	0.9%	1.1%	2.6%	3.9%	3.2%	4.5%	5.3%	8.9%
若年層男性	40.0%	36.7%	28.6%	41.1%	48.9%	48.8%	11.1%	10.0%	14.3%	4.4%	0.0%	2.4%	1.1%	2.2%	1.2%	2.2%	2.2%	4.8%
若年層女性	26.7%	25.8%	21.8%	49.1%	50.5%	49.1%	12.7%	13.7%	13.3%	3.6%	1.1%	1.8%	6.7%	4.4%	9.7%	1.2%	4.4%	4.2%
中年層男性	29.1%	36.5%	40.9%	54.5%	46.5%	36.5%	9.7%	9.4%	9.6%	2.2%	1.9%	1.7%	1.5%	1.9%	6.1%	3.0%	3.8%	5.2%
中年層女性	28.4%	28.0%	28.2%	54.6%	52.3%	55.0%	11.0%	11.5%	8.1%	0.0%	0.5%	1.4%	1.8%	5.5%	1.9%	4.1%	2.3%	5.3%
高年層男性	46.6%	40.9%	47.6%	41.8%	38.4%	32.9%	2.9%	9.1%	9.1%	1.0%	1.3%	0.4%	1.9%	3.4%	0.9%	5.8%	6.9%	9.1%
高年層女性	40.4%	32.4%	36.2%	43.6%	45.5%	43.8%	6.8%	8.7%	4.6%	0.0%	0.4%	0.7%	2.3%	4.4%	2.0%	6.8%	8.7%	12.8%

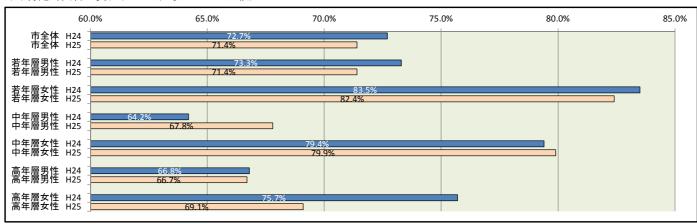
(2)肯定的回答の変化(H23・24の平均とH25との比較)



4 幸福実感 (1)2年間の集計

	とても幸せだと思う		どちらかというと 幸せだと思う		どちらとも言えない		どちらかというと幸 せではないと思う		不幸せだと思う		無回答	
	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25	H24	H25
市全体	17.3%	19.1%	55.4%	52.3%	16.7%	16.6%	3.8%	4.7%	1.4%	0.6%	5.4%	6.7%
若年層男性	24.4%	25.0%	48.9%	46.4%	13.3%	20.2%	4.4%	3.6%	3.3%	0.0%	5.6%	4.8%
若年層女性	26.4%	30.3%	57.1%	52.1%	11.0%	10.3%	2.2%	6.1%	2.7%	0.6%	0.5%	0.6%
中年層男性	16.4%	13.9%	47.8%	53.9%	25.8%	20.0%	6.3%	7.8%	1.9%	1.7%	1.9%	2.6%
中年層女性	17.9%	19.1%	61.5%	60.8%	12.8%	13.9%	3.2%	4.3%	0.9%	0.5%	3.7%	1.4%
高年層男性	9.5%	17.3%	57.3%	49.4%	22.0%	20.3%	3.0%	3.5%	0.9%	0.4%	7.3%	9.1%
高年層女性	17.5%	16.1%	58.2%	53.0%	14.9%	16.4%	4.0%	3.6%	0.4%	0.7%	5.1%	10.2%

(2)肯定的回答の変化(H24の平均とH25との比較)



※幸福実感はH24から実施

Ⅲ 統計的分析手法を用いた分析について

Ⅲ 統計的分析手法を用いた分析について

市民生活実感調査の回答結果に対し、統計的分析手法を用いて、以下の三つの分析を行った。

1 生活実感における過去2年平均との比較について<資料3>

生活実感に関する130の設問について、今年度の生活実感の値と過去2年の平均値を比べて、 顕著な変化を示しているかどうかの分析を行った。その結果、27の設問が該当した。上昇した 場合は、市による施策・事業の効果があったと考えられるが、下降した場合は、注意を要する。 上昇した要因または下降した要因を分析することが望まれる。

分析結果から、市全体においては、「産業・商業」、「大学」の分野に上昇した設問が目立った。 世代別・性別においては、高年層男性の「スポーツ」と、中年層女性・高年層女性の「大学」の 分野に上昇した設問が目立った。

さらに詳しくみると「京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE都市になってきている。」の設問は中年層男性のみ下降し、「子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。」の設問は若年層女性のみ下降したことが特徴的であった。また「大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。」については、市全体、若年層女性、高年層女性で下降しており、今後注意を要する。

今年の回答状況が過去2年平均の回答状況と比べて、偶然ではなく、なんらかの要因により必然的に起こった変化と考えられる設問を把握するため、統計的分析手法である「t検定」を用いた。本分析においては有意水準1%に該当したものを顕著な変化を示したものとして取り上げている。

※上昇した場合であれ、下降した場合であれ、変化の幅が想定の範囲内を超えて大きく変化した ものを挙げたこととなる。

生活実感における過去2年平均との比較について 一覧表

※計27問該当

※太字は下降を示した設問

分野別	 設問文 ()内は該当する世代別・性別	過去2年
		との比較
環境	「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれて	上昇
(1問該当)	いる。(市全体)	工升
青少年	青少年の成長を支援する社会環境と青少年を受け入れる居場所がある。	
(1問該当)	(市全体)	上昇
市民生活の安全		
(1問該当)	地域の一員として安心してくらせるまちになっている。(市全体)	上昇
文化	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。(市全体・	[=
(1問該当)	高年層男性)	上昇
	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする	
スポーツ	機会がある。(高年層男性)	上昇
(2問該当)	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフ	[=
	やボランティアとして支えるひとが増えている。(市全体・高年層男性)	上昇
	京都では価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。(市	. =
	全体)	上昇
		上昇中
	京都の特色を生かした産業活動が行われている。(中年層女性・高年層	年層女性
	女性)	下降高
		年層女性
産業・商業	働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。(市	. =
(5問該当)	全体)	上昇
	ソーシャルビジネス (社会的企業) が育ってきている。(市全体)	上昇
		上昇中
	京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。(中	年層女性
	年層女性・高年層女性)	下降高
		年層女性
観光	京都は、国際会議などが盛んに開かれる MICE 都市になってきている。	下胶
(1問該当)	(中年層男性)	下降

	京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸	上昇
<u> </u>	術等に触れる機会に恵まれている。(市全体・高年層女性)	<u> </u>
	京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材	上昇
大学	が育っている。(若年層女性)	エハ
(4問該当)	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。(市全体・	上昇
	中年層女性・高年層女性)	工开
	大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の	
	発展にもつながっている。(市全体・中年層女性)	上昇
	地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびと	I. 目
地域福祉	が活発に活動している。(若年層女性)	上昇
(2問該当)	社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守	ſ. 目
	られている。(高年層男性)	上昇
保健衛生•医療	和田1 のよく超れて反応の検急の機関がもフ (士人仕)	I. 🗐
(1問該当)	利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。(市全体) 	上昇
学校教育	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整ってい	上昇
(1問該当)	る。(若年層男性)	上升
	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実してい	上昇
生涯学習	る。(若年層女性)	上升
(2問該当)	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	→ n⁄2
	(若年層女性)	下降
歩くまち	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。(高年層男性)	上昇
(2問該当)	地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。(市全体)	上昇
都市機能	田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。(若	上昇
(1問該当)	年層男性)	上升
消防・防災	身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。(若	LE
(1問該当)	年層女性)	上昇
くらしの水	大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。(市全	下降
(1問該当)	体・若年層女性・高年層女性)	I M T
	·	

<世代別・性別該当設問数>

市全体	14問
若年層男性	2問
若年層女性	6 問
中年層男性	1問
中年層女性	4問
高年層男性	5問
高年層女性	5問

2 政策重要度と生活実感による政策優先度の検討についてく資料4>

27の政策分野における政策重要度の値と生活実感の値を組み合わせたものを四つのゾーンに分類することで、今後の政策の優先度を検討する参考となる。

分析結果から、分野においては世代別・性別で異なるゾーンに位置するものがあるなど、世代別・性別によって政策的に力を入れる層とそうでない層を把握することができる。

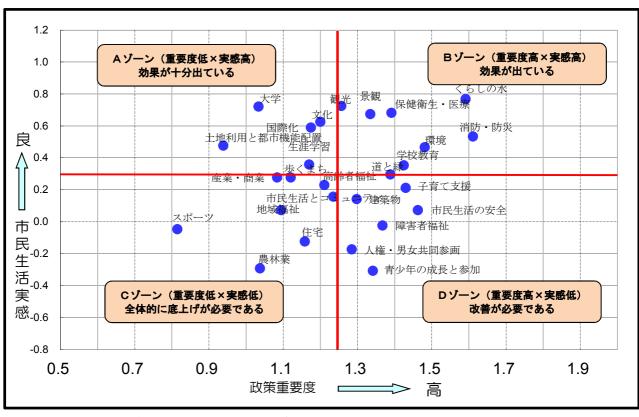
横軸に政策重要度、縦軸に生活実感を設定し、「重要である」と「そう思う」をプラス2点、「どちらかというと重要である」と「どちらかというとそう思う」をプラス1点、「どちらとも言えない」を0点、「どちらかというと重要ではない」と「どちらかというとそう思わない」をマイナス1点、「重要ではない」と「そう思わない」をマイナス2点と換算し、各回答数を掛け合わせたものを総回答数で割ることによって平均値を得た。その値を図にあてはめ、政策重要度と生活実感の関係を示した。各ゾーンは次のような意味を持つと考える。

Aゾーン: 政策重要度は低いが生活実感は高い(効果が十分出ている)

Bゾーン: 政策重要度も生活実感も高い(効果が出ている)

Cゾーン: 政策重要度も生活実感も低い(全体的に底上げが必要である)

Dゾーン:政策重要度は高いが生活実感は低い(改善が必要である)

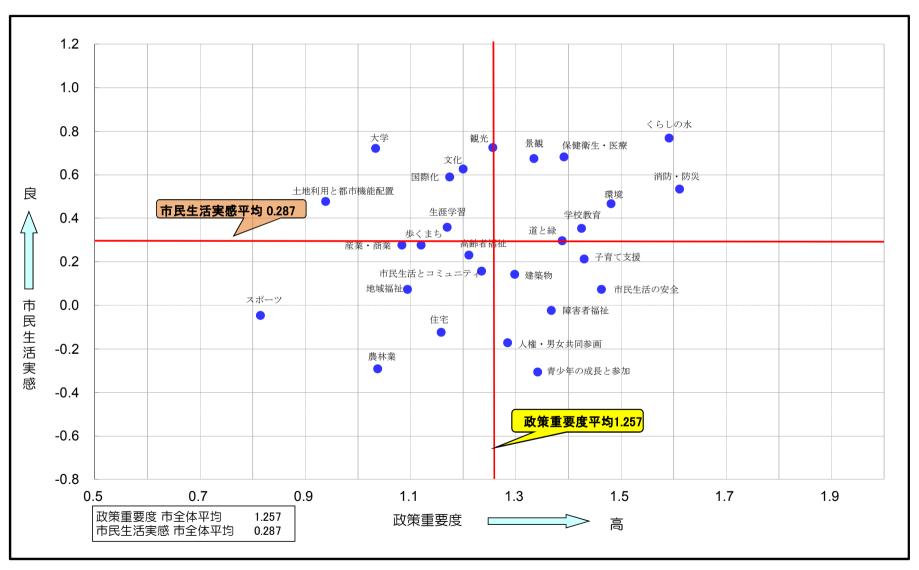


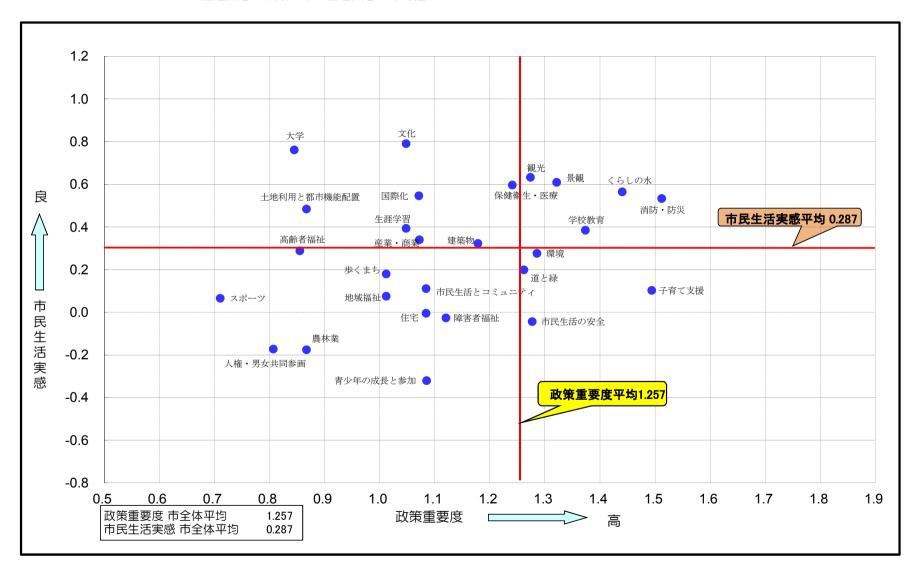
※日々の生活の中で市民が実感する部分が多いほうが良いという観点からはC, Dゾーンに位置する政策はもっと力を入れるべきと考えられる。図は市全体の値を示しているが、一覧表には世代別・性別の値を示し、それぞれの特徴が見られる。

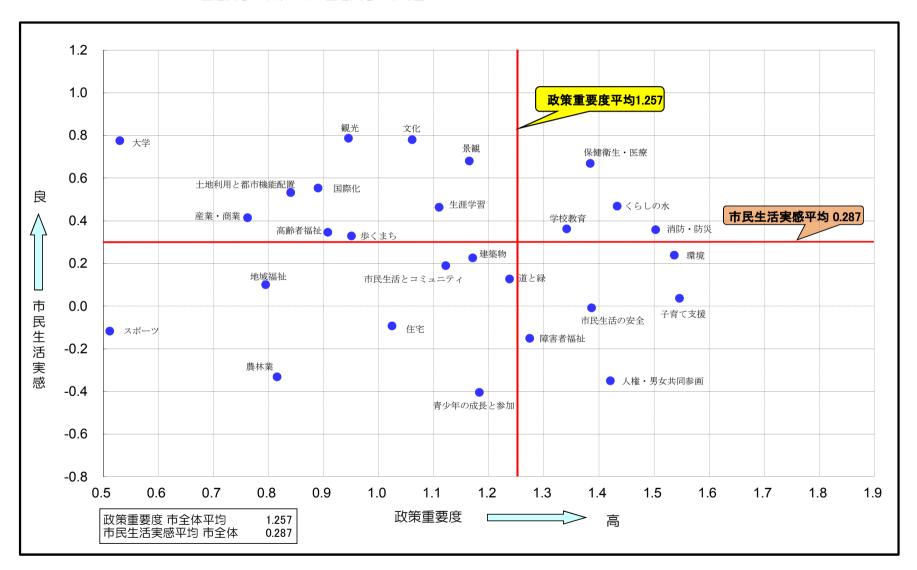
政策重要度と生活実感による政策優先度の検討について 一覧表

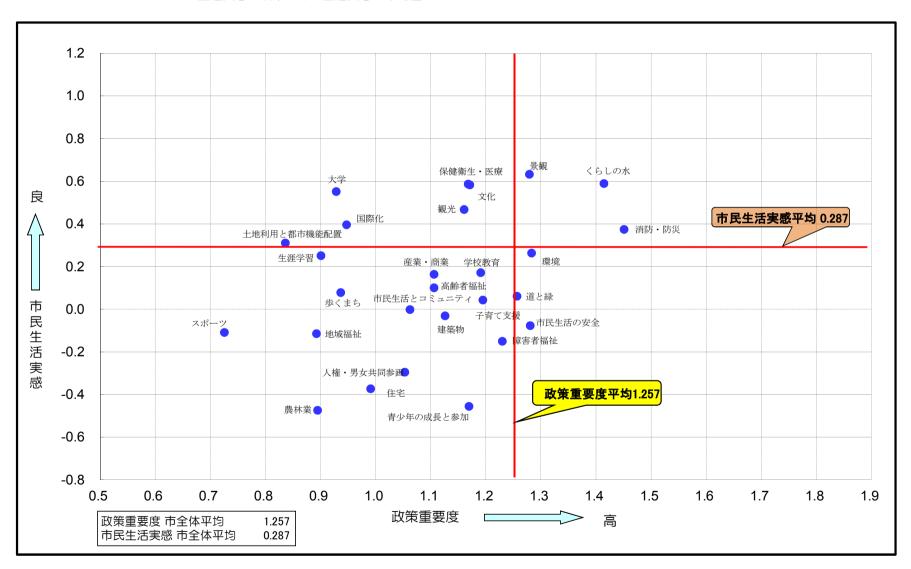
砂笠	分野	市全体	若年層	若年層	中年層	中年層	高年層	高年層
- 以 水	刀對	加土件	男性	女性	男性	女性	男性	女性
環境		В	D	D	D	В	В	В
人権・男女会	共同参画	D	С	D	С	D	D	D
青少年の成長	長と参加	D	С	С	С	D	D	D
市民生活と	コミュニティ	С	С	С	С	С	D	В
市民生活の気	安全	D	D	D	D	D	D	D
文化		A	A	A	A	A	A	В
スポーツ		С	С	С	С	С	С	С
産業・商業		С	A	A	С	A	С	С
観光		A	В	А	A	A	В	В
農林業		С	С	С	С	С	С	D
大学		A	A	А	A	A	A	В
国際化		A	A	A	A	A	A	В
子育て支援		D	D	D	С	D	В	В
障害者福祉		D	С	D	С	D	D	D
地域福祉		С	С	С	С	С	С	D
高齢者福祉		С	С	A	С	С	D	D
保健衛生・日	医療	В	A	В	A	В	В	В
学校教育		В	В	В	С	В	В	В
生涯学習		A	A	А	С	A	A	В
歩くまち		С	A	А	С	С	A	В
土地利用と	都市機能配置	A	A	А	A	A	A	A
景観		В	В	A	В	В	В	В
建築物		D	A	С	С	С	D	D
住宅		С	С	С	С	С	С	D
道と緑		В	D	С	D	D	В	В
消防・防災		В	В	В	В	В	В	В
くらしの水		В	В	В	В	В	В	В
	А	6	8	10	6	7	6	1
∌l.	В	7	5	4	3	6	9	1 5
計	С	8	1 0	8	1 5	8	5	2
	D	6	4	5	3	6	7	9

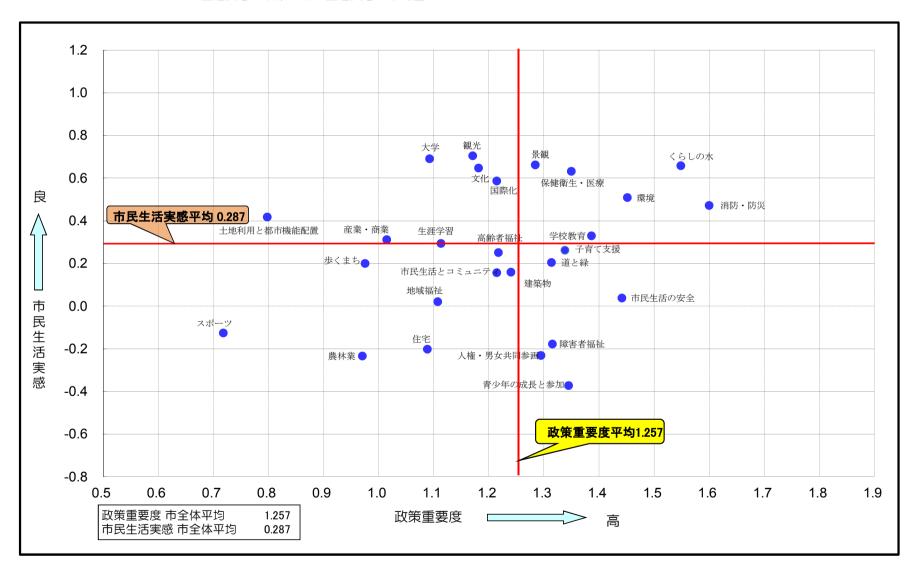
※各世代別・性別のマトリックス図は次ページ以降に掲載

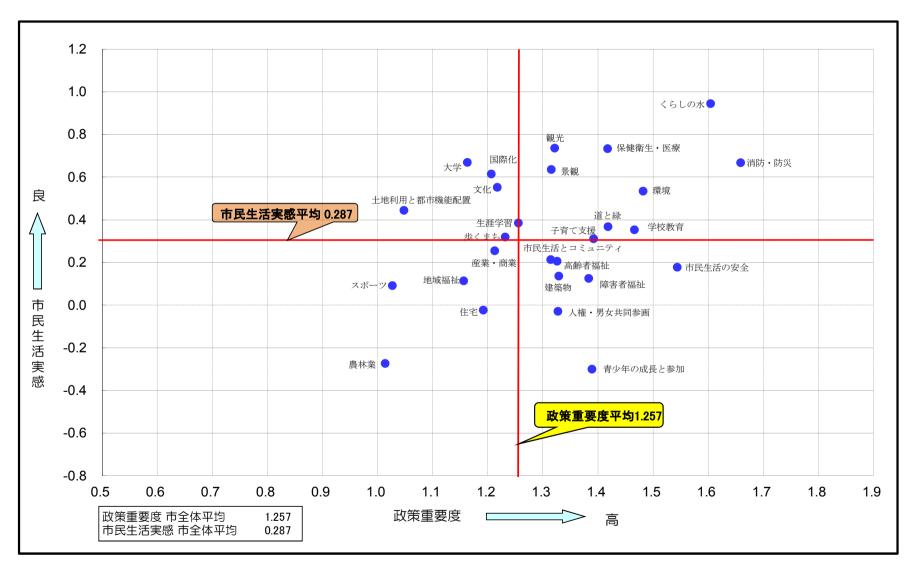


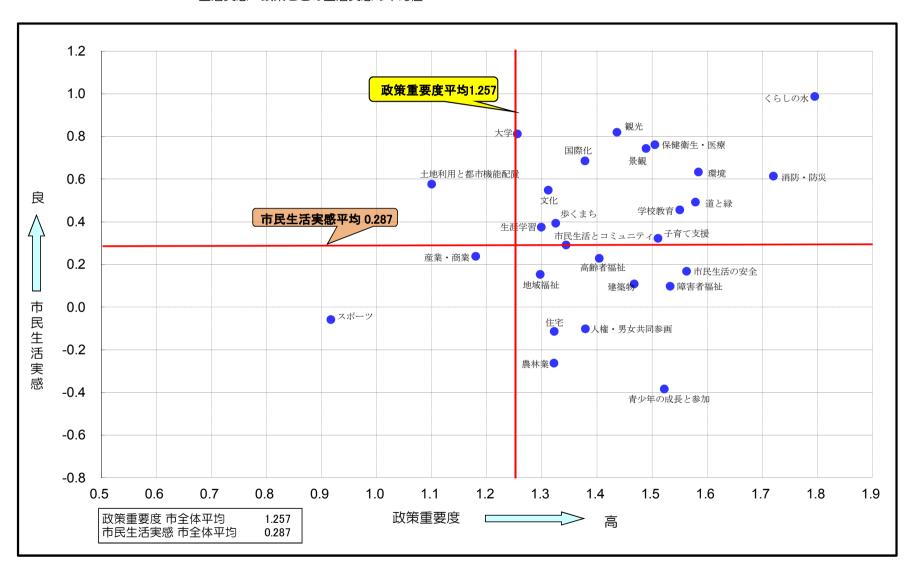












3 生活実感と幸福実感における相関について〈資料5〉

生活実感に関する130の設問と幸福実感の相関関係の分析を行った。その結果、31の設問で該当した。相関がある場合、生活実感が上がるに連れて幸福実感も上がるため、該当する設問に対して生活実感を高めるような取組を推進することで幸福実感の上昇が期待できる。

分析結果から、「市民生活とコミュニティ」、「スポーツ」、「学校教育」、「土地利用と都市機能配置」の分野で相関が多くみられた。

世代別・性別においては、中年層男性が最も多く該当した。中年層男性は、他の世代別・性別と比べて相対的に生活実感と幸福実感が低いことから、これを手掛かりに中年層男性の幸福実感を高める取組を期待したい。一方、中年層女性は、該当する設問が一つもなかった。

本分析においては、中程度の相関が認められるとされる「相関係数 0 . 4 」以上あるものを取り上げた。また偶然性を排除するため、「 t 検定」で有意水準 1 %に該当しないものは取り上げていない。

なお、一般的には相関関係の強弱の目安として以下のように示されることが多く、本分析においてもこの基準で相関関係の強さを判定している。

強い相関がある: ± 0 . $7 \sim \pm 1$. 0 中程度の相関がある: ± 0 . $4 \sim \pm 0$. 7以下

弱い相関がある: ± 0 . $2 \sim \pm 0$. 4以下 ほとんど相関がない: ± 0 . 2 未満

※正の相関関係が強いということは、「生活実感度合が高い人は幸福実感度合も高い」あるいは 「生活実感度合が低い人は幸福実感度合も低い」ということを意味する。中年層男性でこれに 該当する設問が多かったのは「生活実感度合も幸福実感度合も低い」人が比較的多かったため と考えられる。

生活実感と幸福実感において相関を示した設問 一覧表

※計31問該当

分野	設問文	世代・性別
環境 (1問該当)	きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれて いる。	中年層男性
人権・男女 (1問該当)	くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。	中年層男性
 市民生活と	地域の一員として安心してくらせるまちになっている。	高年層女性
コミュニティ	町内会・自治会などの地域の組織の活動が盛んである。	高年層男性
(3問該当)	多様なNPOやボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。	中年層男性
文化 (1問該当)	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	中年層男性
	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりす	中年層男性
スポーツ	る機会がある。	高年層男性
(2問該当)	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッ	高年層男性
	フやボランティアとして支えるひとが増えている。	间千個刀压
産業・商業	京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。	中年層男性
(2問該当)	働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	中年層男性
観光	京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。	高年層男性
(2問該当)	京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	中年層男性
国際化(1問該当)	京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。	中年層男性
子育て支援 (1問該当)	働き方の見直しや男性の育児参加など、仕事と子育ての両立に取り組 むひとや企業が増えている。	中年層男性
障害者福祉	障害への理解が進み、障害のあるひともないひとも、認め合い、支え 合ってくらせるまちになっている。	中年層男性
(2問該当)	働く場で、障害のあるひとがいきいきと働く姿を多く見かけるように なっている。	中年層男性
地域福祉 (1問該当)	地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとび とが活発に活動している。	若年層女性
古松老行列	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。	高年層女性
高齢者福祉 (2問該当)	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域で そのひとらしいくらしを送れている。	高年層女性

保健衛生・ 医療 (1問該当)	感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	高年層男性
	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地	若年層女性
	域ぐるみの教育が進んでいる。	中年層男性
学校教育 (3問該当)	子どもたちが参加できる、さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機 会がある。	若年層女性
	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	中年層男性
生涯学習 (2問該当)	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	中年層男性
(乙间砂当)	子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	中年層男性
歩くまち (1問該当)	地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	高年層男性
土地利用と	身近な地域が魅力的になっている。	高年層男性 高年層女性
都市機能配置 (2問該当)	身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	中年層男性 高年層男性
景観	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	高年層女性
(2問該当)	三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	中年層男性
住宅 (1問該当)	身近な地域で空き家が減っている。	若年層男性

<世代別·性別該当設問数>

市全体	0問
若年層男性	1問
若年層女性	3問
中年層男性	18問
中年層女性	0問
高年層男性	8問
高年層女性	5問

4 自由記述の分析について

自由記述の回答に対し、頻出する単語とそれに関連する単語をまとめた。自由記述は与えられた設問ではないため、回答者の潜在的なニーズを抽出することができ、今後の政策や事業等を検討するうえで参考となりうる。

分析結果から、市全体においては、市民生活にとって身近な交通、子供、地域等に関する単語が目立った。世代別・性別においては、中年層男性は仕事に関する単語が多いことや唯一自転車が見られなかったことが特徴的であった。

<市全体> 回答数 525

自転車・バスなどの交通について最も意見を持っており、次いで子供・地域・学校に対して意 見を持っているといえる。

	頻出語1位 自転車	頻出語2位 子供	頻出語3位 地域	頻出語4位 都市	頻出語 5 位 交通
関連語1位	歩道	学校	高齢	交通	公共
関連語2位	マナー	自分	市政	国際	自転車
関連語3位	交通	社会	学校	自転車	機関
関連語4位	道路	未来	行政	道路	市バス
関連語5位	駐輪場	無料	住民	市民	地下鉄

<若年層男性> 回答数 41

他では見られない「外国」が上位に現れたことが特徴的であった。

	頻出語1位 交通	頻出語 2 位 バス	頻出語 2 位 地域	頻出語4位 外国	頻出語 4 位 行政
関連語1位	公共	地下鉄	行政	バス停	効果
関連語2位	機関	交差点	課題	区役所	政策
関連語3位	市バス	住宅	機会	標識	地域
関連語4位	自転車	人気	若年	英会話	住民
関連語 5 位	態度	駐輪場	素人	交差点	若年

<若年層女性> 回答数 90

「子供」と「環境」が多く見られたことが特徴的であった。

	頻出語1位 自転車	頻出語 2 位 子供	頻出語3位 地域	頻出語4位 場所	頻出語 5 位 環境
関連語1位	マナー	土地	住宅	バス	現状
関連語2位	歩道	公園	マンション	歩道	子供
関連語3位	交通	環境	世代	地下鉄	市民
関連語4位	道路	現状	子供	マナー	病院
関連語5位	場所	自分	町内	自転車	Q 2

<中年層男性> 回答数 49

5つの語が頻出語の同率1位であることから、関心や興味は散らばっていると思われる。また「タバコ」「給料」「バブル」は、他の世代別・性別では見られない一方、「自転車」が見られないことが特徴的であった。

	頻出語1位 行政	頻出語1位 タバコ	頻出語1位 高齢	頻出語1位 市政	頻出語1位 地域
関連語1位	目的	給料	障害	長期	人格
関連語2位	財政	バブル	人々	分野	駅前
関連語3位	やる気	中学	社会	内容	平安
関連語4位	地方	駅前	子供	未来	大人
関連語5位	住民	クビ	市政	アンケート	住環境

<中年層女性> 回答数 104

「子供」についての意見と「高齢」についての意見が同時にみられることと、「町内」「ボランティア」は他の世代別・性別では見られないことが特徴的であった。

	頻出語1位 自転車	頻出語 2 位 子供	頻出語3位 地域	頻出語4位 高齢	頻出語 5 位 交通
関連語1位	歩道	学校	市民	都市	公共
関連語2位	スピード	無料	町内	制度	運賃
関連語3位	マナー	税金	ボランティア	福祉	町内
関連語4位	駐輪場	老人	市政	市営	路線
関連語5位	交通	自転車	文化	マナー	財政

<高年層男性> 回答数 101

「地域」「道路」が頻出語の同率1位であり、「都市」「公園」に関する意見が最も多いことが 特徴的であった。

	頻出語1位 地域	頻出語1位 道路	頻出語3位 都市	頻出語4位 市民	頻出語 5 位 自転車
関連語1位	高齢	公園	市民	一般	歩道
関連語2位	公園	市内	公共	積極	駐輪場
関連語3位	土地	歩道	世界	都市	公園
関連語4位	学校	大型	バス	市政	アスファルト
関連語5位	企業	駐輪場	神社	議員	バス停

<高年層女性> 回答数 129

頻出語の3位までに「自分」や「老人」という単語が現れていることが特徴的であった。

	頻出語1位 自転車	頻出語2位 都市	頻出語3位 交通	頻出語3位 自分	頻出語3位 老人
関連語1位	道路	若者	機関	行政	若者
関連語2位	歩道	国際	自転車	人生	未来
関連語3位	スピード	産業	市バス	自身	ホーム
関連語4位	路上	会社	保険	老後	中心
関連語 5 位	大学	ゴミ	地下鉄	機関	歩道

自由回答など定性的なものを解析するためには定量的なデータに変換することが効果的であり、 今回の分析では統計的分析手法であるテキストマイニング法を用いて、市全体と世代別・性別に対 して分析を行った。世代別・性別の区分ごとの自由回答の中から頻出する単語を上位五つ抽出し、 その単語それぞれについての関連語を上位五つ抽出した。 IV 政策分野別の考察について

Ⅳ 政策分野別の考察について

27の政策分野ごとに、過去3年分の生活実感と今年度の政策重要度等から読み取れる傾向や課題をまとめた。

<表の見方>

生活実感			政策重要	度
① 肯定的回答	② 順位	③ 過去2年との比較	④ 肯定的回答	⑤ 順位
00%	△/27	上昇(+□%)	00%	△/27
⑥ 【考察】				
	• • • • •			
	• • • • •			
	• • • • •			
	• • • • •			
	• • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	

- ① 当該分野における生活実感の設問の肯定的回答(「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を足し合わせたもの)の平均値(H25)
- ② ①について27の政策分野における順位(H25)
- ③ ①と過去2年分(H23・24)の平均値との比較
- ④ 当該分野における政策重要度の肯定的回答(「重要である」と「どちらかというと 重要である」)の値(H25)
- ⑤ ④について27の政策分野における順位(H25)
- ⑥ 市全体と世代別・性別の観点から、当該分野の特徴的な傾向を示したものや、そこから読み取れる課題、期待される取組を記述

なお、考察の中で取り上げた特徴的な設問は<資料6>にグラフを掲載しているので、 そちらをご確認いただきたい。

1 環境 (P47参照)

生活実感			政策重要	度度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
50.9%	8/27	上昇(+2.0%)	88.7%	3/27

【考察】

- ・マイバッグやリサイクル製品に関する生活実感の設問 6 では、若年層女性と中年層女性は肯定的回答が高いことから、マイバッグなど個人でできる取組は浸透していると考えられる。今後は、肯定的回答が低かった若年層男性と中年層男性が行動に移しやすい取組が期待される。
- ・設問5の「京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。」は設問6と関連して肯定的回答が高いことが想定されたが、実際は全体平均よりも低い結果となった。"私"自身は環境にやさしい行動をとっているが周囲の人や事業者という点では取組がまだ不十分という意識があるのではないか。

2 人権·男女共同参画(P48参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
23.1%	24/27	上昇(+1.0%)	81.6%	11/27

【考察】

- ・ワークライフバランスや女性への暴力に関する生活実感の設問3・4では、各世代とも男性のほうが肯定的回答が高く、男女間で意識の差が明らかとなった。特に若年層の男性と女性の間ではその差が顕著であった。さまざまな啓発活動は行われているが、今後は若年層男性に重点を置いた取組が期待される。
- ・どの世代別・性別においても政策重要度が高い割に生活実感は低かった。社会全体で 人権尊重・男女共同参画への意識の向上に向けたさらなる取組が期待される。

3 青少年の成長と参加

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
13.2%	27/27	上昇(+1.1%)	82.2%	10/27

- ・どの世代別・性別においても政策重要度が高い割に生活実感は低かった。社会全体で 青少年を支える意識の向上に向けたさらなる取組が期待される。
- ・生活実感においては「どちらとも言えない」と「無回答」が多かった。青少年に限定 した設問であるため、回答するのが難しかったと思われる。

4 市民生活とコミュニティ(P49参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
38.2%	14/27	上昇(+2.0%)	81.3%	12/27

【考察】

- ・中年層男性の生活実感が他の世代別・性別と比べて最も低かった。仕事が生活の中心であり、地域のことについてあまり関心がないか、あるいは知る機会がないことが影響していると思われる。
- ・中年層男性と高年層男性は、町内会や自治会に関する設問2・4において幸福実感と の正の相関がみられた。
- ・仕事中心の中年層男性が定年退職を迎える高年層の初期段階で地域にスムーズに入っていけるような取組が期待される。

5 市民生活の安全(P50参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
31.5%	20/27	上昇(+2.4%)	88.1%	4/27

【考察】

・若年層男性と中年層男性の生活実感が低かったが、その内容は異なっている。若年層男性は設問4の消費者問題が特に低く、中年層男性は設問1の防犯・治安における地域の支え合いが特に低かった。

6 文化 (P51参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
57.5%	5/27	上昇(+4.1%)	77.1%	18/27

- ・生活実感は高く、また過去2年との比較では2番目に上昇した分野である。
- ・本市全体のイメージに関する設問(1・3・4)の生活実感は高いが、回答者自身の 生活に関わる設問2の生活実感は低かった。本市全体のイメージと生活における具体的 な文化芸術との関わりの間には差があるのではないか。

7 スポーツ (P53参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
31.2%	21/27	上昇(+2.6%)	63.9%	26/27

【考察】

- ・生活実感で全体を下げているのは、プロスポーツに関する設問 2 が特に低かったためである。
- ・高年層男性はスポーツを身近に楽しむことに関する設問1やスポーツのボランティアに関する設問3において幸福実感との正の相関がみられたことから、一層積極的にスポーツに関わっていけるような取組を推進することで、高年層男性の幸福実感を高めることが期待できる。
- ・設問1・3においては、全世代で男性よりも女性の生活実感が低かった。

8 産業・商業 (P54参照)

生活実感			政策重要	Ē度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
37.8%	15/27	上昇(+1.3%)	70.6%	23/27

【考察】

- ・京都の価値や特色を生かした産業に関わる生活実感の設問2・3で肯定的回答が高いことから、京都市民は産業における"京都らしさ"を強く実感しているといえる。
- ・中年層男性の生活実感は低いが、働く機会に関する設問 5 では幸福実感との正の相関がみられた。とりわけ安定した雇用を求めているのが中年層男性だといえる。
- ・高年層女性は生活実感も政策重要度も無回答が多く、関心のある層とない層に二分されているといえる。

9 観光 (P56参照)

生活実感			政策重要度	
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
59.8%	3/27	上昇(+2.5%)	77.7%	16/27

- ・日常生活と観光に関する設問3・4で中年層男性の生活実感が特に低いことより、中年層男性は市内観光を楽しめておらず、また暮らしやすいと感じていないといえる。
- ・設問5では、若年層の否定的回答が特に多かった。

10 農林業

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
14.0%	26/27	下降(-0.5%)	70.5%	24/27

【考察】

- ・生活実感は全27分野の中で2番目に低い結果となり、さらに過去2年の平均と比べても下降していることから、特に注意を要する。
- ・政策重要度も全体的に低い結果となったことから、京都市内における農林業の重要性などを市民にもっと広く知ってもらうための取組が期待される。

11 大学(P57参照)

生活実感			政策重要	i度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
57.2%	6/27	上昇(+5.2%)	68.2%	25/27

【考察】

- ・生活実感において過去2年との比較で最も上昇した分野である。しかし、大学生のパワーを感じることに関する生活実感の設問4は、過去2年から低いままであり、特に中年層と高年層でその傾向が強い。
- ・京都のまちの活性化に大学生のパワーをより活用するとともに、中年層と高年層に対してそれを見聞きする機会を提供する取組が期待される。

12 国際化 (P58参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
53.1%	7/27	上昇(+1.2%)	75.7%	20/27

- ・「京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際 社会に貢献している。」の生活実感の設問2は、若年層女性が特に肯定的回答が低い。
- ・「国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。」の生活実感の設問3は、中年層男性が特に低かった。
- ・若年層女性と中年層男性は他の世代別・性別と比べて政策重要度も低かったことから、 それぞれの設問に関してターゲットを絞った取組を展開することが期待される。

13 子育て支援(P59参照)

	生活実感			度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
36.4%	17/27	下降(-0.4%)	85.4%	5/27

【考察】

- ・身近な地域での子育て支援や医療体制に関する生活実感の設問3は、他の設問と比べて肯定的回答が高かったが、各世代とも男性のほうが低かった。
- ・仕事と子育ての両立に関する設問4については、近年多くの支援や広報活動がされて きたものの肯定的回答は低く、また過去2年と比べても低くなっており、より一層の取 組が期待される。

14 障害者福祉(P60参照)

	生活実感			度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
25.7%	23/27	下降(-0.3%)	85.1%	6/27

【考察】

・バリアフリーに関する設問4は過去2年と比べて肯定的回答が増えているが、その中では中年層女性の肯定的回答が特に低く、今後注意を要する。

15 地域福祉(P60参照)

生活実感			政策重要	i度
肯定的回答 順位 過去2年との比較			肯定的回答	順位
30.4%	22/27	上昇(+2.4%)	77.7%	16/27

【考察】

・中年層男性の生活実感が低いことが特徴的である。特に設問2・4が低いことから、中年層男性が地域の福祉活動や防犯・防災の取組に参加しやすくなる仕組みが期待される。

16 高齢者福祉

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
37.4%	16/27	上昇(+2.1%)	78.6%	15/27

【考察】

- ・中年層男性と中年層女性の生活実感が全体的に低かった。身近に迫った高齢時の生活に対する不安が高いことがうかがえる。
- ・一方、若年層男性が高かった理由は、自分たちにとってはまだ遠い将来のこととして 楽観的にとらえているためではないか。
- ・高年層女性は生活実感が低いものの、幸福実感の相関が複数みられたことから、この 層をターゲットとした取組を強化することで、高年層女性の幸福実感を高めることが期 待できる。

17 保健衛生·医療(P61参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
57.7%	4/17	上昇(+0.8%)	84.8%	7/27

【考察】

- ・生活実感は全体的に高いが、設問1の「正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている」は比較的低かった。
- ・食の安全に関わる設問3と5で幸福実感との正の相関が多くみられたことから、食の安全に対する重要性がうかがえる。

18 学校教育(P62参照)

生活実感			政策重要	Ē度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
36.0%	18/27	下降(-0.7%)	84.7%	8/27

- ・学校の先生と保護者や地域との連携に関する生活実感の設問3は全体として低く、特に中年層男性が低かったが、中年層女性は比較的高かった。中年層男性は中年層女性と 比べて、学校の先生との関わりが弱いためにこのような結果になったのではないか。
- ・若年層女性と中年層男性において生活実感と幸福実感の正の相関が複数みられた。

19 生涯学習(P62参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
39.2%	13/27	上昇(+0.7%)	77.0%	19/27

【考察】

- ・生活実感の設問3の「地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している」は中年層と高年層で低かった。生涯学習の主役である中年層や高年層にとって魅力的な生涯学習のメニューの開発などに対する支援が一層求められる。
- ・設問4では、高年層の生活実感は高い一方、子どもの親世代である若年層・中年層の生活実感が低いことから、双方の意識にミスマッチがあることがうかがえる。

20 歩くまち(P63参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
45.3%	11/27	上昇(+2.5%)	73.3%	22/27

【考察】

・公共交通に関する生活実感の設問 2・5 とも生活実感が高かったが、自動車渋滞に関する設問 4 や自転車マナーの問題に関する設問 6 は生活実感が低かったため、自動車渋滞や自転車マナーへの対策が課題である。

21 土地利用と都市機能配置(P65参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
46.6%	10/27	下降(-0.3%)	62.5%	27/27

- ・身近な地域に関わる設問4・5は、生活実感が比較的低いにもかかわらず幸福実感との正の相関が見られた。
- ・田の字地域や京都駅周辺に関わる設問2では、中年層男性と高年層男性の実感が低く、南部地域に関わる設問3では、若年層男性の実感が低かった。中・高年層男性は産業としての面を、若年層男性は商業としての面を重視しているのではないか。
- ・政策重要度はすべての政策分野の中で最も低い結果となったが、「どちらとも言えない」と「無回答」が多かったためである。この分野のタイトル「土地利用と都市機能配置」を市民にもっとわかりやすい言葉へ変えることも一案である。

22 景観 (P67参照)

生活実感			政策重要度	
肯定的回答	順位	過去2年との比較	肯定的回答	順位
60.1%	2/27	下降(-0.2%)	80.6%	13/27

【考察】

・生活実感は、電柱に関する設問4を除いて肯定的回答が高く、中でも若年層の男女において肯定的回答が高かった。

23 建築物 (P68参照)

	生活実感			度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
33.0%	19/27	下降(-0.1%)	80.6%	13/27

【考察】

・生活実感が低いが、全体を下げているのは設問3・4であり、ともに防災に関する設問である。特に細い道に関する設問4は否定的回答が半数近くある。

24 住宅 (P69参照)

生活実感			政策重要	Ē度
肯定的回答 順位 過去2年との比較			肯定的回答	順位
23.1%	24/27	上昇(0.9%)	75.5%	21/27

【考察】

・生活実感のすべての設問において肯定的回答が低かった。中でも、低所得者や高齢者に関する設問4は肯定的回答が最も低く、また過去2年から低いままである。この分野における対策が特に望まれる。

25 道と緑 (P69参照)

生活実感			政策重要	度
肯定的回答 順位 過去2年との比較		肯定的回答	順位	
42.9%	12/27	同じ (0.0%)	83.6%	9/27

【考察】

・まちの緑に関する設問 2 だけが肯定的回答が高かった。 3 年間を通して高く、特に高年層男性・女性で高かった。

26 消防·防災(P70参照)

	生活第	 尾感	政策重要	Ē度
肯定的回答 順位 過去2年との比較			肯定的回答	順位
49.1%	9/27	上昇(+1.5%)	90.9%	1/27

【考察】

- ・身近なところや個人で取り組んでいる内容に関する生活実感の設問1・4は、肯定的回答が低かった。まず身近なところから始められる仕組みが必要と思われる。
- ・防火意識に関する設問1は若年層女性が比較的高い一方、中年層男性は最も低かった。 しかし防災意識に関する設問5では逆に中年層男性が高い一方、若年層女性は最も低かった。

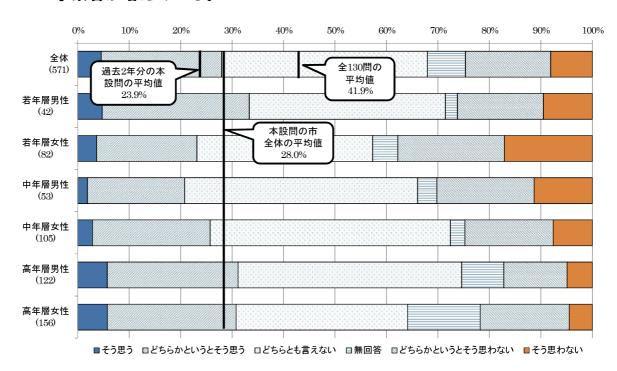
27 くらしの水 (P71参照)

生活実感			政策重要度	
肯定的回答 順位 過去2年との比較			肯定的回答	順位
61.9%	1/27	下降(-0.6%)	90.1%	2/27

- ・上下水道サービスに関する生活実感の設問4は、高年層の肯定的回答は高かったが、 若年層と中年層の肯定的回答は低かった。若年層・中年層向けの広報の工夫がより一層 求められる。
- ・身近な地域の浸水被害対策に関する設問2では、全体としては肯定的回答が高いものの、市全体、若年層女性、高年層女性の肯定的回答が過去2年と比べて大きく下降しており、浸水被害対策のさらなる充実が期待されていると考えられる。

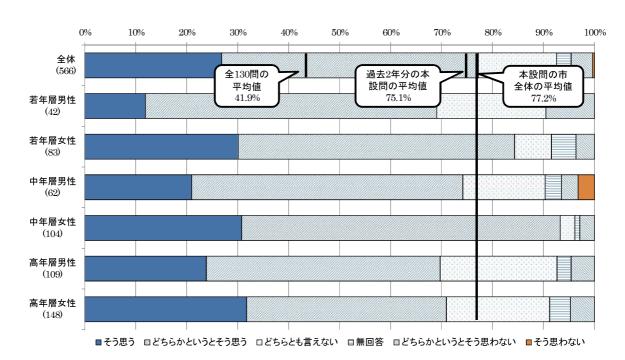
環境 生活実感(世代別・性別)

設問5:京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや 事業者が増えている。



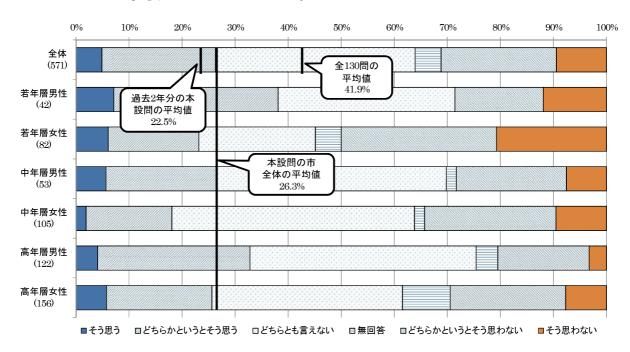
環境 生活実感(世代別・性別)

設問6:マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業 活動が広がっている。



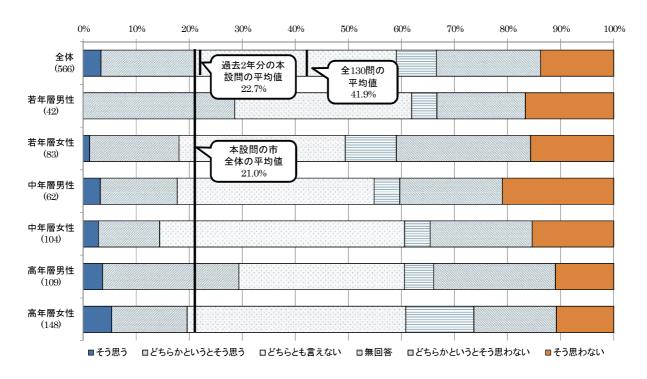
人権・男女共同参画 生活実感(世代別・性別)

設問3:女性も男性も、仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実 できる社会になってきている。



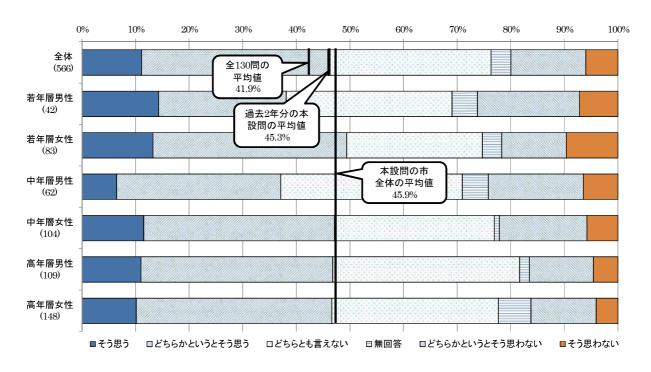
人権・男女共同参画 生活実感(世代別・性別)

設問4:女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。



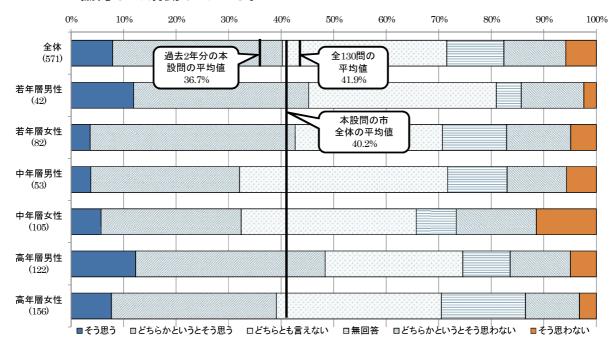
市民生活とコミュニティ 生活実感(世代別・性別)

設問2:町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。



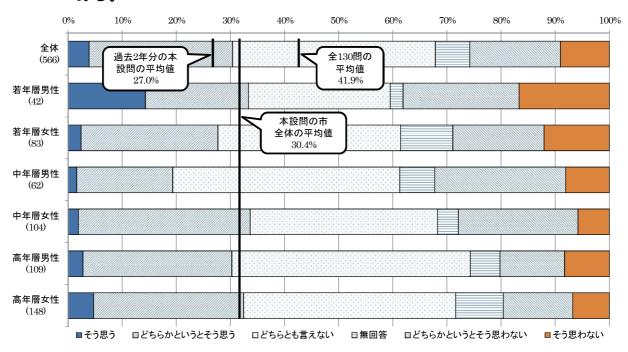
市民生活とコミュニティ 生活実感(世代別・性別)

設問4:多様なNPOやボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。



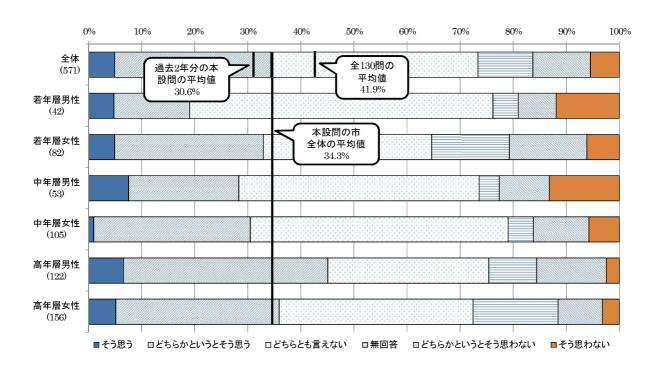
市民生活の安全 生活実感(世代別・性別)

設問1:犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。



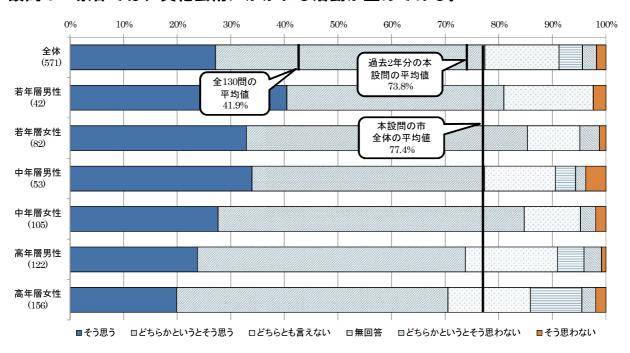
市民生活の安全 生活実感(世代別・性別)

設問4:消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。



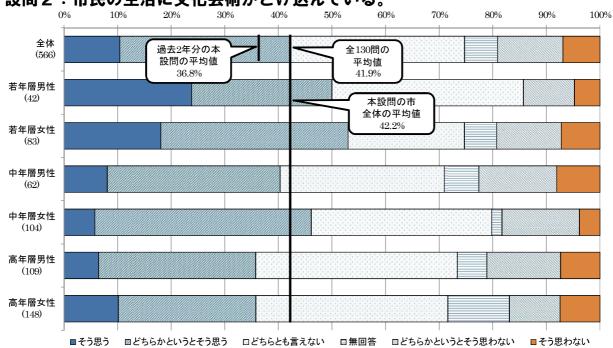
文化 生活実感(世代別・性別)

設問1:京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。



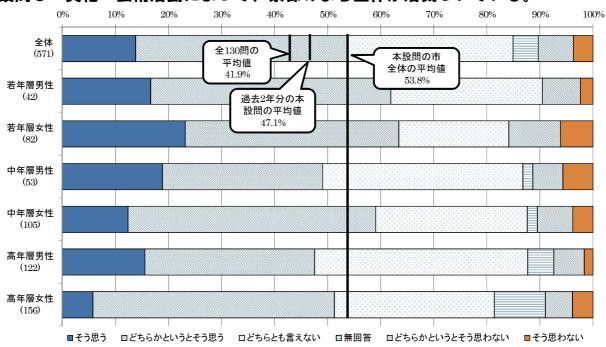
文化 生活実感(世代別・性別)

設問2:市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。



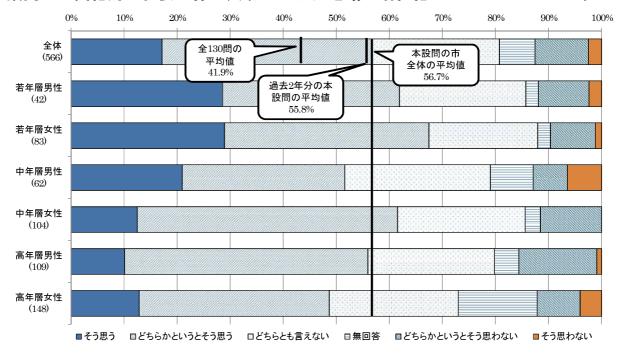
文化 生活実感(世代別・性別)

設問3:文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。



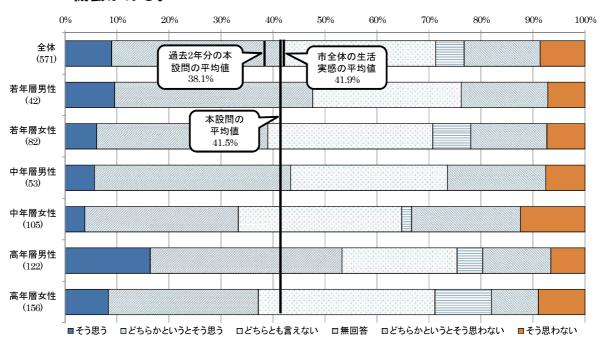
文化 生活実感(世代別・性別)

設問4:文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。



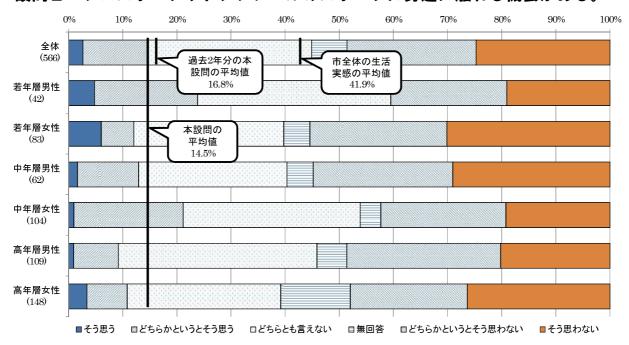
スポーツ 生活実感(世代別・性別)

設問1:気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする 機会がある。



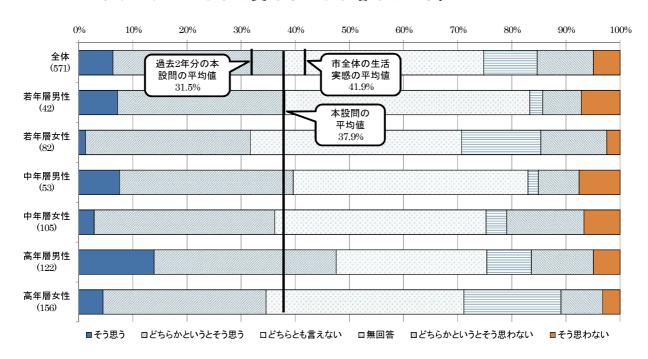
スポーツ 生活実感(世代別・性別)

設問2:プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。



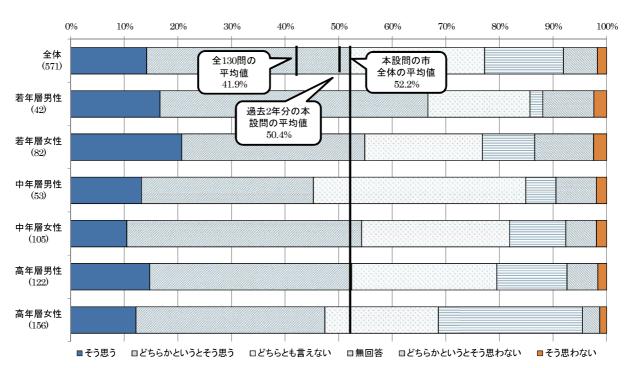
スポーツ 生活実感(世代別・性別)

設問3:スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフ やボランティアとして支えるひとが増えている。



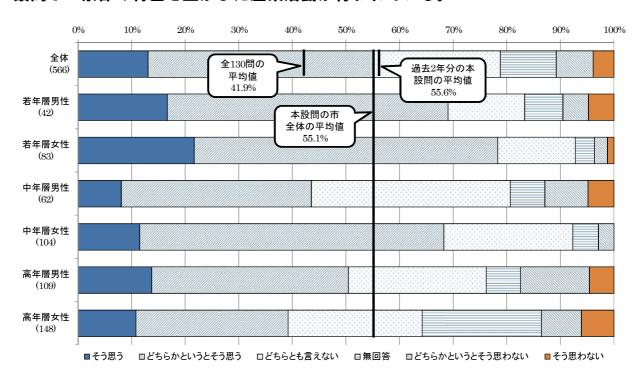
産業・商業 生活実感(世代別・性別)

設問2:京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。



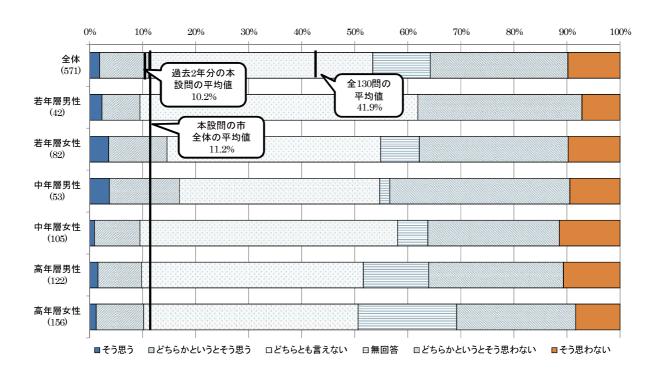
産業・商業 生活実感(世代別・性別)

設問3:京都の特色を生かした産業活動が行われている。



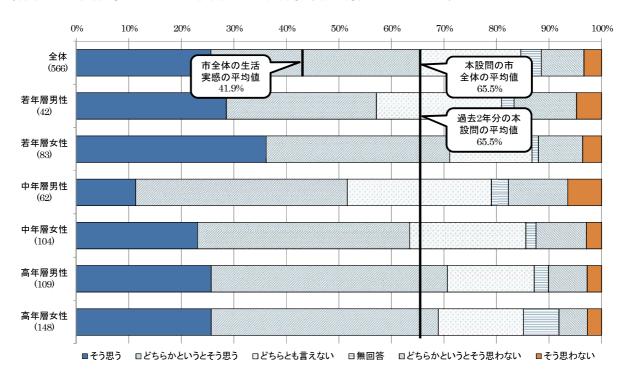
産業・商業 生活実感(世代別・性別)

設問5:働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。



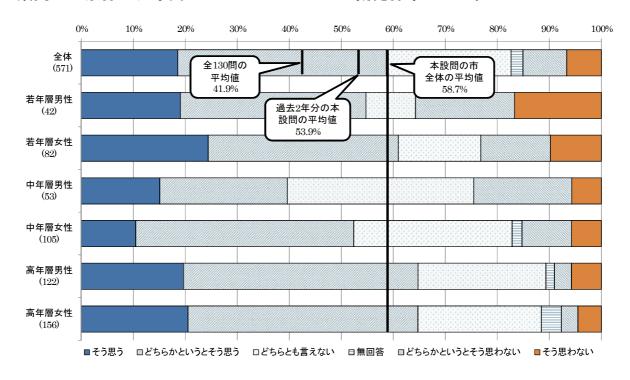
観光 生活実感(世代別・性別)

設問3:京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。



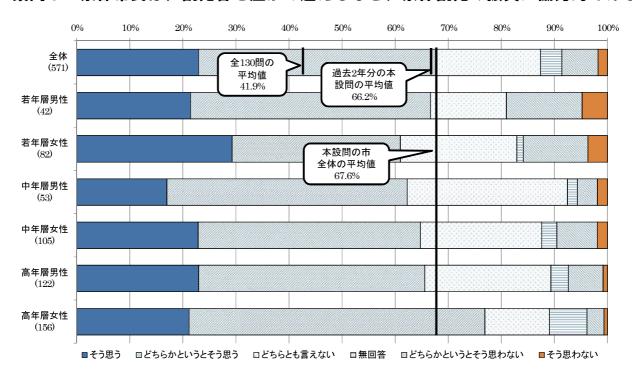
観光 生活実感(世代別・性別)

設問4:京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。



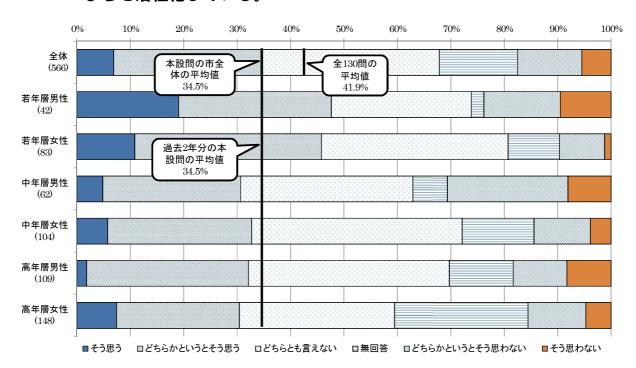
観光 生活実感(世代別・性別)

設問5:京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。



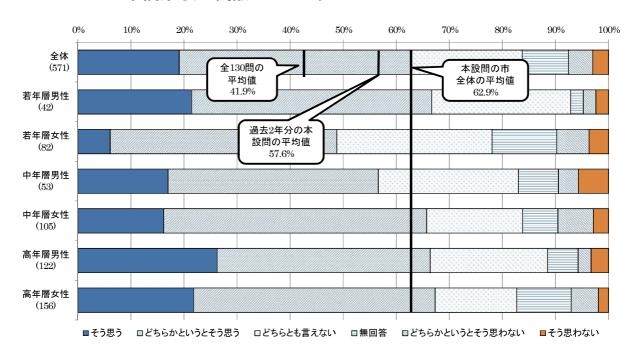
大学 生活実感(世代別・性別)

設問4:学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都の まちを活性化している。



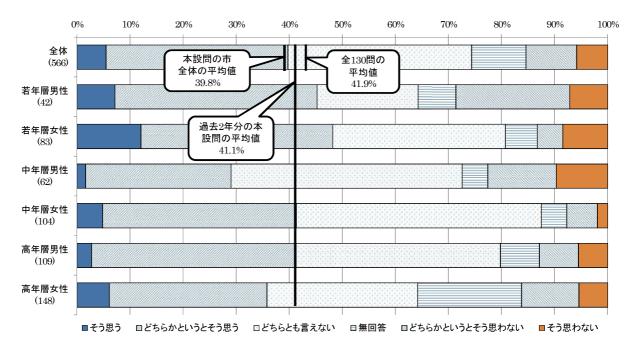
国際化 生活実感(世代別・性別)

設問2:京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市 として国際社会に貢献している。



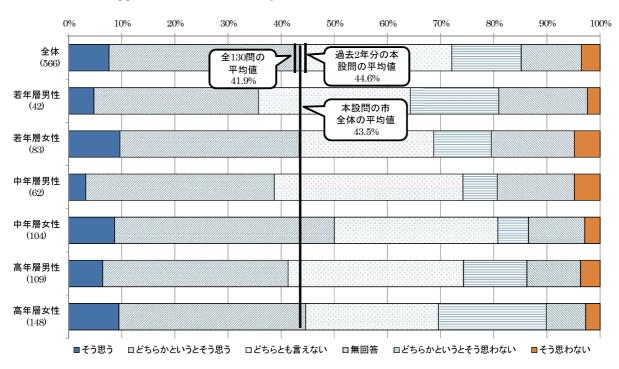
国際化 生活実感(世代別・性別)

設問3:国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきと くらせるまちになっている。



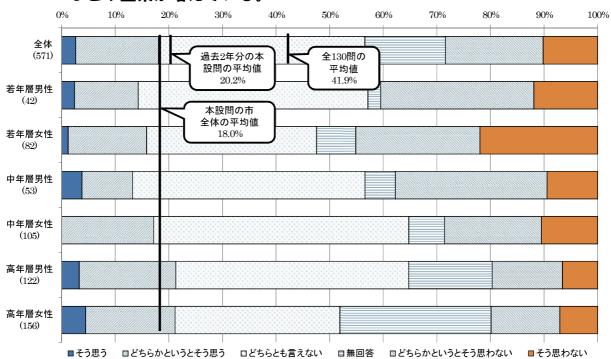
子育で支援 生活実感(世代別・性別)

設問3:必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを 生み育てることができる。



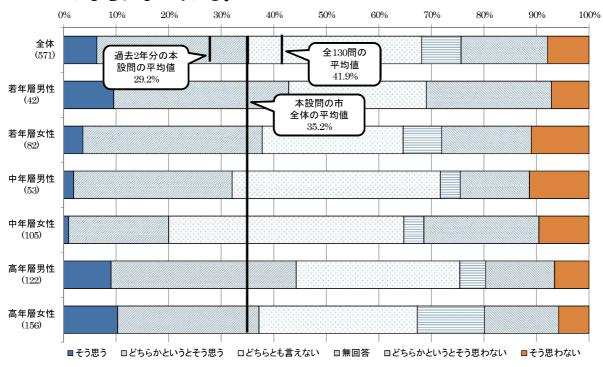
子育で支援 生活実感(世代別・性別)

設問4:働き方の見直しや男性の育児参加など、仕事と子育ての両立に取り組む ひとや企業が増えている。



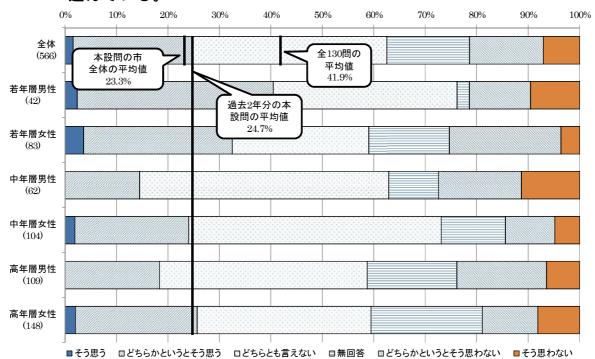
障害者福祉 生活実感(世代別・性別)

設問4:バリアフリーなどの生活しやすい社会環境の整備が進み、くらしやす いまちになっている。



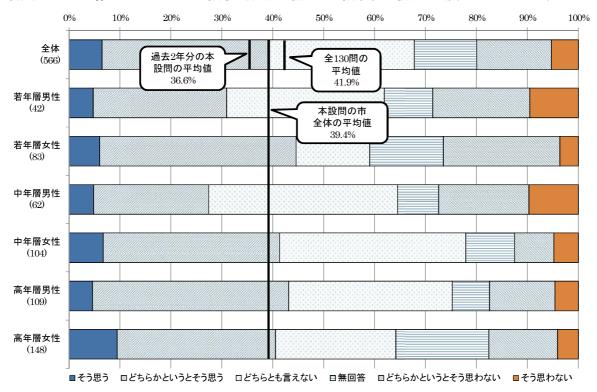
地域福祉 生活実感(世代別・性別)

設問2:地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが 進んでいる。



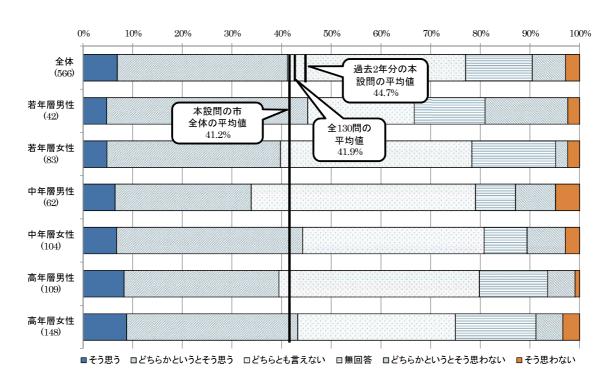
地域福祉 生活実感(世代別・性別)

設問4:地域のつながりが福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。



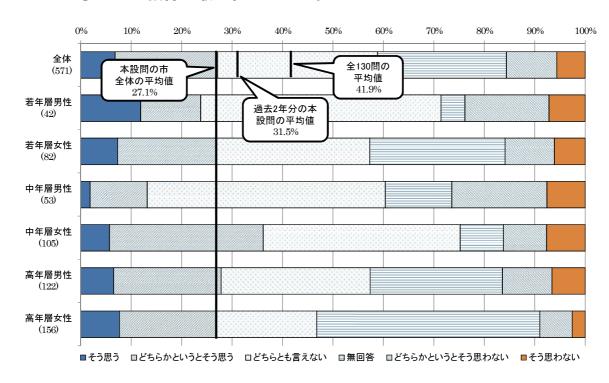
保健衛生・医療 生活実感(世代別・性別)

設問1:正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。



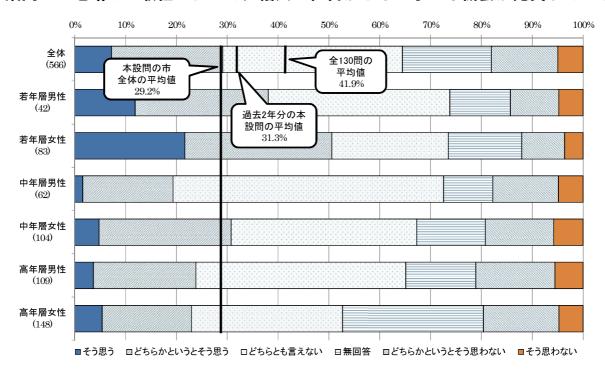
学校教育 生活実感(世代別・性別)

設問3:学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、 子どもの教育に取り組んでいる。



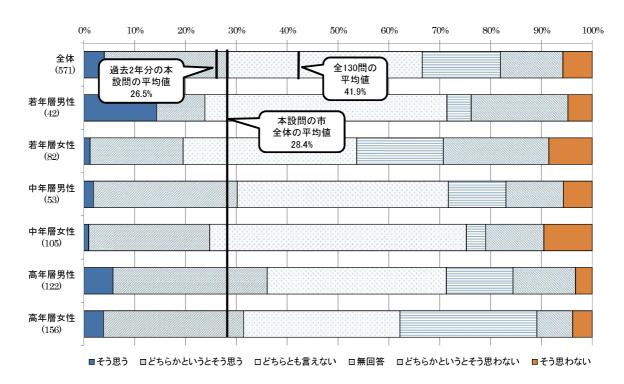
生涯学習 生活実感(世代別・性別)

設問3:地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。



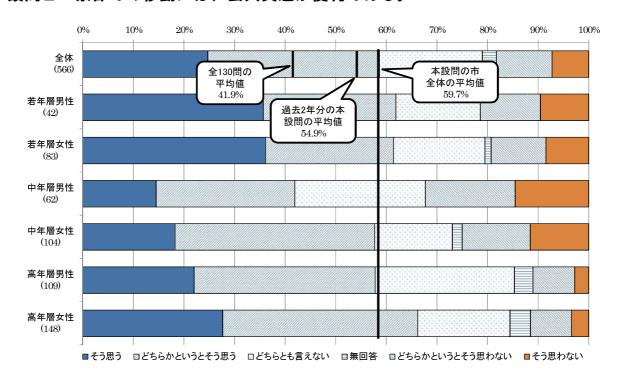
生涯学習 生活実感(世代別・性別)

設問4:子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。



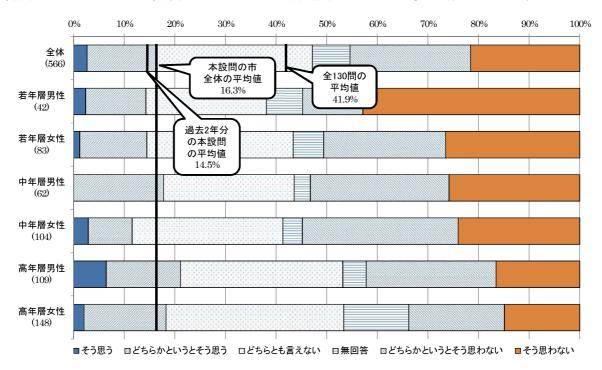
歩くまち 生活実感(世代別・性別)

設問2:京都での移動には、公共交通が便利である。



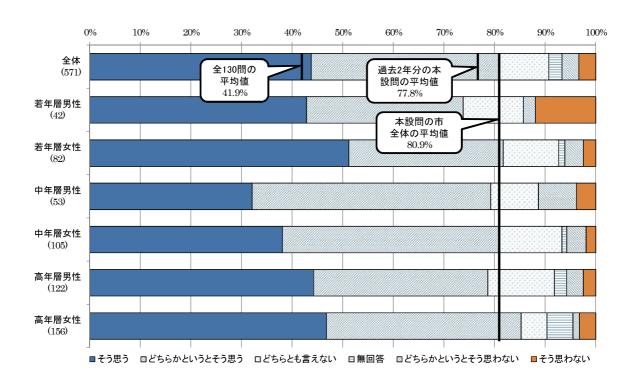
歩くまち 生活実感(世代別・性別)

設問4:まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。



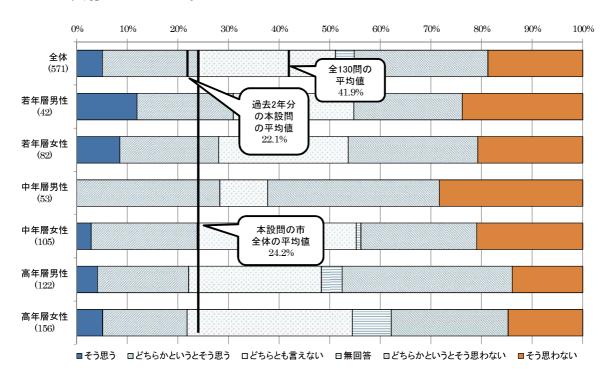
歩くまち 生活実感(世代別・性別)

設問5:地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。



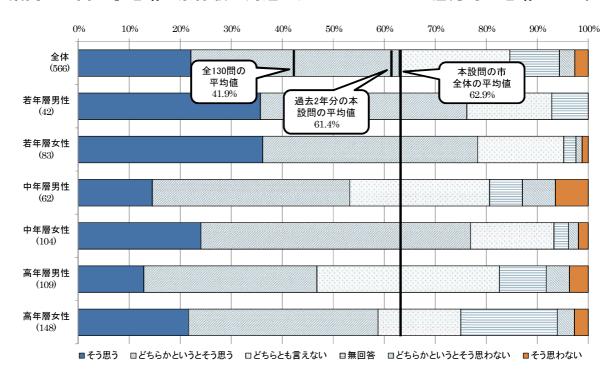
歩くまち 生活実感(世代別・性別)

設問6:駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が 共存できている。



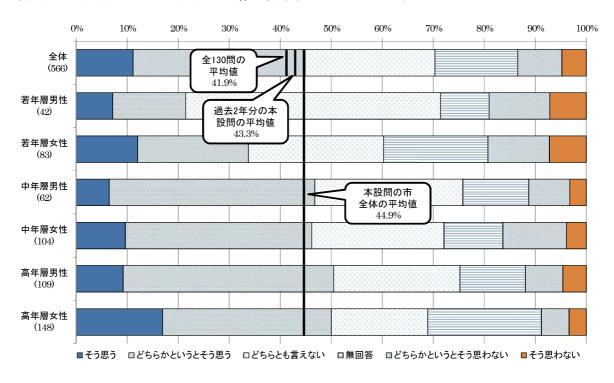
土地利用と都市機能配置 生活実感(世代別・性別)

設問2:田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。



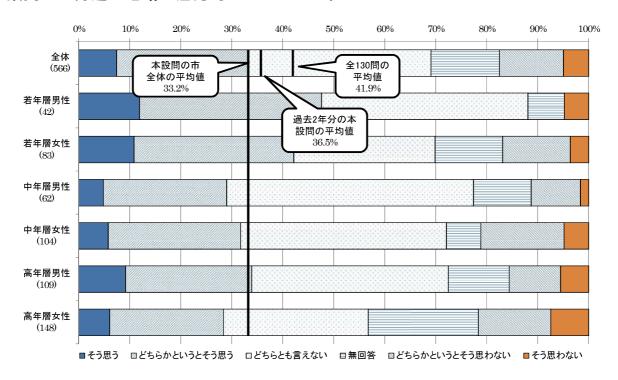
土地利用と都市機能配置 生活実感(世代別・性別)

設問3:京都のまちの南部地域が発展してきている。



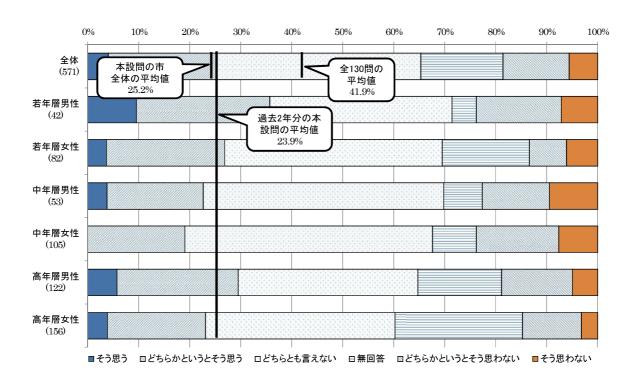
土地利用と都市機能配置 生活実感(世代別・性別)

設問4:身近な地域が魅力的になっている。



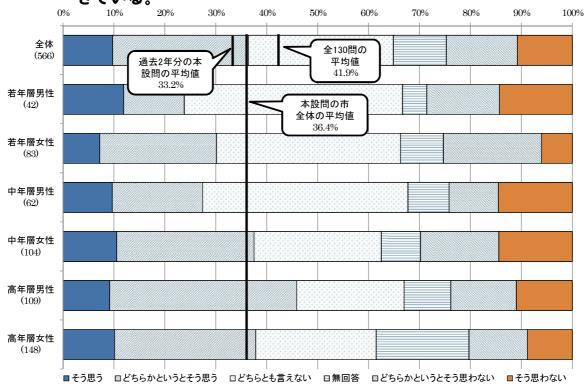
土地利用と都市機能配置 生活実感(世代別・性別)

設問5:身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。



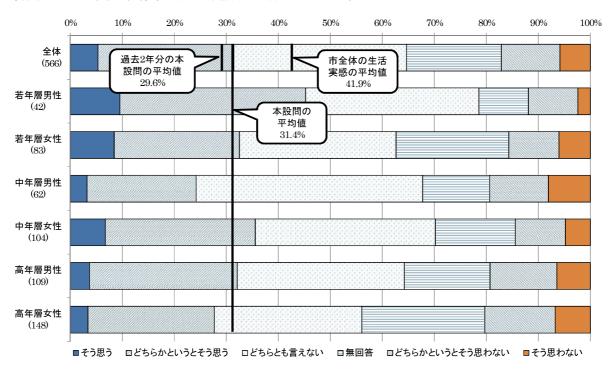
景観 生活実感(世代別・性別)

設問4:大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えて きている。



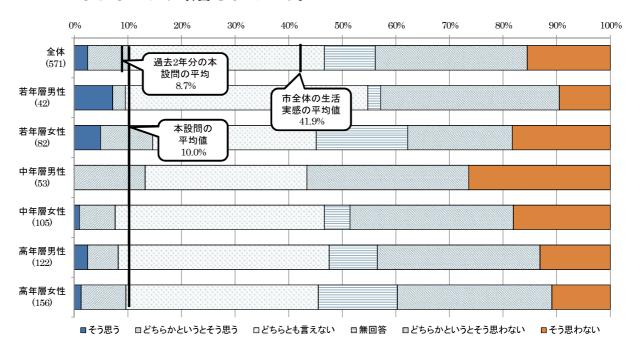
建築物 生活実感(世代別・性別)

設問3:地震や火災に強い建物が増えている。



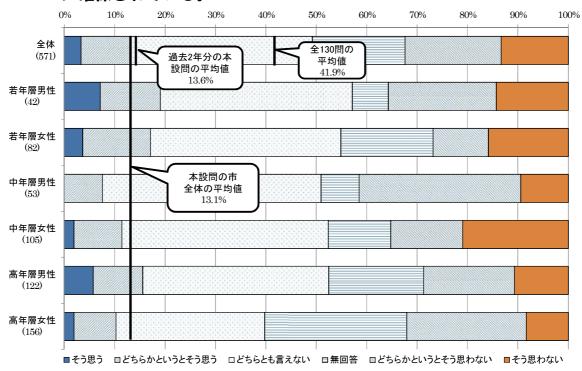
建築物 生活実感(世代別・性別)

設問4:身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きく ならないよう改善されている。



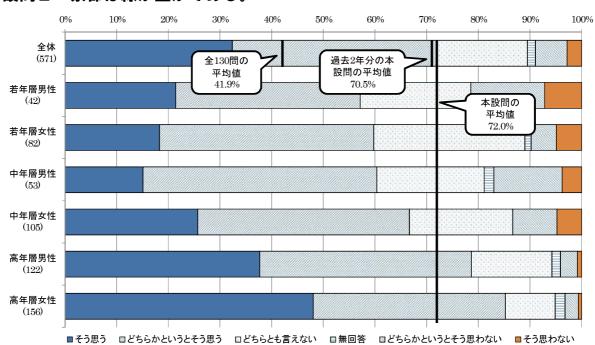
住宅 生活実感(世代別・性別)

設問4:低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分 に確保されている。



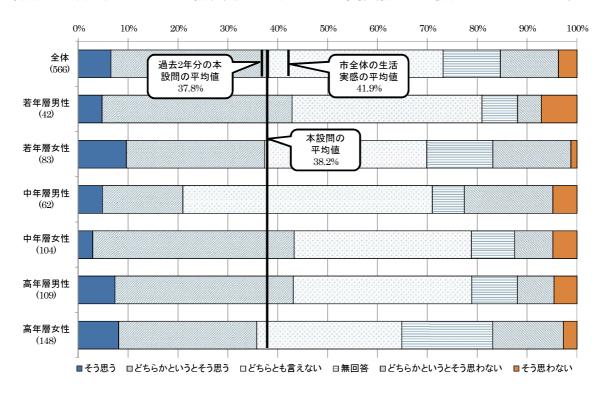
道と緑 生活実感(世代別・性別)

設問2:京都は緑が豊かである。



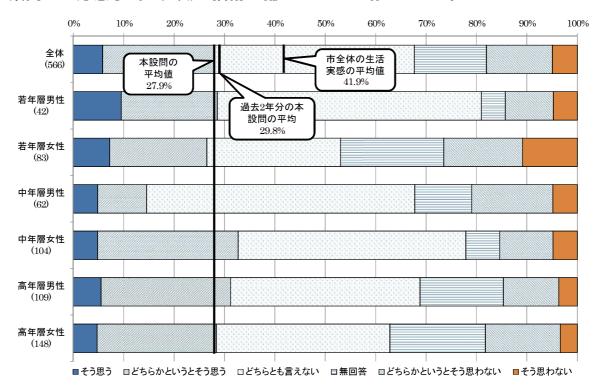
消防・防災 生活実感(世代別・性別)

設問1:身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。



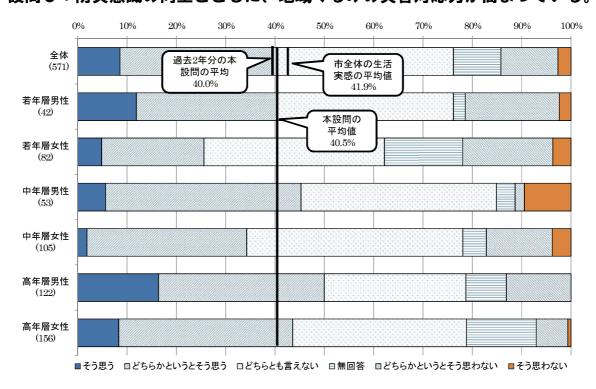
消防・防災 生活実感(世代別・性別)

設問4: 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。



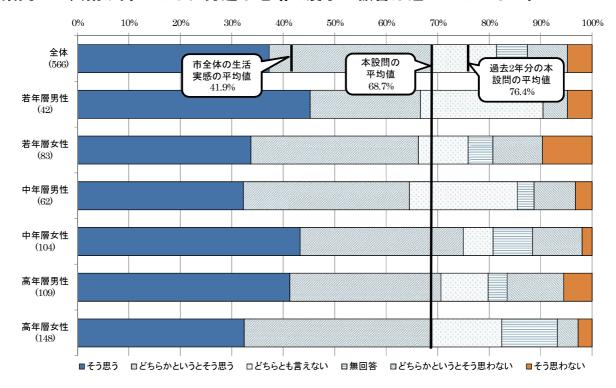
消防・防災 生活実感(世代別・性別)

設問5:防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。



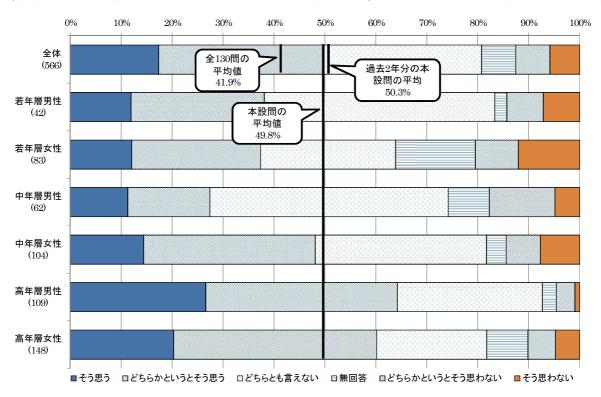
くらしの水 生活実感(世代別・性別)

設問2:大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。



くらしの水 生活実感(世代別・性別)

設問4:水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。



生活実感130の設問一覧 「そう思う」「どちらかというとそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」の5段階で回答

		かというとそう思う」「どちらとも言えない」「どちらかというとそう思わない」「そう思わない」の5段階で回答
分野	番号	設問内容
	1	京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえのないものと実感している。
	2	「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。
	3	省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。
1 環境	4	太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。
	5	京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。
	6	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。
	7	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。
	1	くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。
2.人権・男女	2	いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。
共同参画	3	女性も男性も、仕事と生活(家庭や地域活動など)をバランスよく充実できる社会になってきている。
	4	女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。
	1	青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。
3 青少年の	2	青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。
成長と参加	3	青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が生かされている。
70 XC 2 7/1	4	青少年がニート、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。
		青少年の成長を支援する社会環境と、青少年を受け入れる居場所がある。
		地域の一員として安心してくらせるまちになっている。
4 市民生活		町内会・自治会など地域の組織の活動が盛んである。
とコミュニ		地域のひとが、環境や子育て、青少年の育成などの地域の課題に、自分たちで取り組んでいる。
ティ		多様なNPOやボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。
	5	町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。
	1	犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。
5 市民生活	2	事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。
の安全	3	悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害を救済するしくみが整っている。
		消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。
		京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。
6 文化		市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。
		文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。
		文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。
10		気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。
7 スポーツ		プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。
		スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。
		京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。
		京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。
		京都の特色を生かした産業活動が行われている。 京都の商業は盛んで楽しく買い物ができ、元気な商業者が多い。
8 産業・商業		177 H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。 京都では、京業男・大学・行政などが連携して、企業の活致や東業環境の製造を進んでいる。
		京都では、産業界・大学・行政などが連携して、企業の誘致や事業環境の整備を進めている。
		ソーシャルビジネス(社会的企業)が育ってきている。
		京都の卸売市場は、安全・安心な生鮮食品の提供に役立っている。
		じっくり滞在し、ほんものとふれあい、歩いて楽しむ観光客が増えている。 古教は、観光家によって質の高い観光教表である。
		京都は、観光客にとって質の高い観光都市である。 京都市民は、四季折々の京都観光を楽しんでいる。
9 観光		京都市氏は、四学折々の京都観光を楽しんでいる。 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。
○ Έ兀ノし		京都は、甲氏にとってくらしやすい観光都用である。 京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。
		牙郁甲氏は、観光各を温かく埋えるなど、牙郁観光の振興に励力的である。 子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。
		テとも連れの家族や石有、ピンネス各など、新たな泉郁ノアンが増えている。 京都は、国際会議などが盛んに開かれるMICE都市になってきている。
		京都の農林業が魅力を増し、後継者や新たな担い手が育っている。
10 農林業		示郁の展析素が魅力を唱し、複雑自や制度は担い子が自つている。 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。
□□灰竹木		示部の展析業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の霊儡を通じて、地域社会に反立っている。 市民農園や森林を守る運動、学校の体験学習などにより、京都の農林業が身近になってきている。
		「印氏展園で森林でする運動、子校の体験子自なとにより、京都の展析業が身近になりとっている。 京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。
11 大学	' '	「京都では、世界から留学生や研究者が集主」「国際社会で法郷する人材が育っている
八子		京都では、世界から留学生や研究者が集まり、国際社会で活躍する人材が育っている。 京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。
	3	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。
l	3 4	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。
	3 4 5	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。
	3 4 5 1	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。
12 国際化	3 4 5 1 2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。
12 国際化	3 4 5 1 2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。
12 国際化	3 4 5 1 2 3 4	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。
12 国際化	3 4 5 1 2 3 4	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。
	3 4 5 1 2 3 4 1 2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。
12 国際化 13 子育て支援	3 4 5 1 2 3 4 1 2	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。 必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。
	3 4 5 1 2 3 4 1 2 3 4	京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。 学生は、京都において社会で活躍する力を養い、そのパワーで京都のまちを活性化している。 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。 京都には、世界から観光、留学、ビジネス等を目的として訪れるひとびとを引き寄せる魅力と、受入環境がある。 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。 国籍、民族、文化等が違っても互いに理解し合い、ともにいきいきとくらせるまちになっている。 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。 子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。

1	分野	番号	設問内容
4 障害者解社 2 四車のあらしたが、みずから要な特性サービスを選択、利用することで、色外操が上地域で応しやすくなっている。	<u>カ ま)′</u>		
19 地域 18	14 障害者福祉		
3 類に残ら、原産のから化とかいもいできた制金を多く及かげるようによっている。			
1 社会的に張い立場にある高齢者で障害のあるいとが、地域ぐみかで見守られている。 2 地域幅は振動などのボランティア活動・受加しやすい地域ぐみがで見守られている。 3 地域のよめいて福祉にかかわる医生変員などのボランティアのひとびとが高速に活動している。 1 高齢者が戦力れ、砂身ともに健康で充実したくらとを送れている。 2 高齢者の取せや経験、技能が社会に生かされている。 3 高齢者が地域で見守られ支えられて、安のしてくらせるまちになっている。 4 介護サービスや住境障壁構成なが実、高齢者が任何はためない。 5 高齢社会が運用するなか、分理機が重要な仕事となっている。 17 保健衛生・管療 2 利用しですく頼れる医療や検診の機関がある。 2 利用しですく頼れる医療や検診の機関がある。 4 公共の場では禁煙が進んでいる。 5 京巻なでは実や技験が必要がらなど、未実したき食糧が整っている。 5 京巻なでは大きないるが表がの設備など、未実したき食糧が整っている。 1 保護者や地域のひとひとが見たりるの教育が進んでいる。 5 京巻なでは大きないるのではためでは大きないるの教育が進んでいる。 5 京巻なでは大きないるのではためでは大きないるのでは大きないるの教育が進んでいる。 6 社権がの変として社会全体で変し物質が、社会を担限る人材の有限に受むっている。 7 京春に大きないるのでは大きないるのでは大きないるのではたの伝教文化や理性の教育が、社会を担限される材の有限に受むっている。 1 京春に大きないるのでは、日本を対象を対象している。 1 京春に大きないるのでは、日本を対象を対象している。 2 生涯にかたって自ら学型したこだい、仕事や社会活動に使むっている。 2 生涯にかたって自ら学型したこだい、仕事や社会活動に使むっている。 2 生涯にかたって自ら学型したこだい、仕事が必要が完まっている。 3 声がないるのではないるのではないるのではないますが表がある。 2 生涯にかたって自ら学型したことが、仕事が必要が完まっている。 3 声がないるのではないまがないままっない。 1 まをいるのではないままがないままがない。 2 まをいるのではないままがないままがないままがないままがないままがないままがないままがないまま			
15 地域福祉		4	バリアフリーなどの生活しやすい社会環境の整備が進み、くらしやすいまちになっている。
1		1	社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。
1	4 F 1/6 1 -11 4= 4/1	2	地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。
4 地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役立つている。 1 高齢者が飲われ、心身とは健康で死失してもした。 2 高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。 4 介理サービスや住場地を積化などが充実、高齢者が生み模れた地域でその比としいくらしを送れている。 4 介理サービスや住場地を構などが充実、高齢者が生み模れた地域でその比としいくらしを送れている。 2 利用・やすく観れる医療が必要が出事でなっている。 2 利用・やすく観れる医療が必要が出事でなっている。 2 利用・やすく観れる医療が終わる例 生 医療 4 介理のは代験が進んでいる。 5 感染症や血を毒素の健康危機に対し、安全と安のが確保されている。 1 保護者や壁域のひとびとが学校のさきてまた活動で動立する父と地域であり数質が進んでいる。 2 安全状態な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。 5 原から生は、能校の生生、保養者や地域のとしてと連携して、チでもの教育が進んでいる。 5 原がようではの伝統文化や環境の影響がよいる場合を指する父と地域であり数質が進んでいる。 5 原がようではの伝統文化や環境の影響がよいるが表している。 5 原がようではの伝統文化や環境の影響がよいる場合と表情を動し役立っている。 5 原がようではの伝統文化や環境の影響がよいる。 19 生涯学習 (主選・アク・保護・アク・保護・アク・保護・アク・アグ・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・アク・	15 地球福祉	<u></u> .	地域において複雑にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが注発に活動している
1 高齢者が破われ、い身ともに健康で充実したくらとを送れている。 2 高齢者の理を秘験、技能が社会に生かされている。 3 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してくらせるまちになっている。 4 小漢サービスやで建筑を促在が充実し、高齢者がは保存した。 5 高齢対金が返度するなか、分後観が重要な仕事となっている。 17 保健衛			
16 高齢8名は 2 高齢8名の知恵や経験、技能が社会に生かされている。 4 か建サービスや仕環境整備などが支集し、高齢名が性が現れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。 4 か建サービスや仕環境整備などが支集し、高齢名が住か現れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。 5 高齢社会が進展するなか。 7 課題がある。 2 利用しやすく材れる医療がや物診の機関がある。 3 支心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。 4 公共の場では禁煙が延んでいる。 5 認発症や食中毒等の健康を描し対し、安全と安心が経保れている。 2 支全快適な学技施設や最新の設備など、充実した教育理境が整っている。 2 支全快適な学技施設や最新の設備など、充実した教育理境が整っている。 5 見かんさなど、他校の先生、保護者や地変のレびしてどと連携している。 5 見からなど、他校の先生、保護者や地変のレびしている上を関している。 4 子ともとらかかに受ら、さまざまな学り、今人の関係を多している。 5 見がなど、地域でるみの教育が進んでいる。 5 見がならではるのた数さいで独立のセグ・スポージを構成、子どもの教育に取り組んでいる。 4 子ともとらかかに受ら、さまざまな学り、スポージ 株実が活動の機会がある。 5 見がならではのの機能がありまた。 4 子ともともかかに受ら、さまざまな学り、スポージを提供する学園へ会のでいる。 4 子ともともかが正めら、さまざまな学り、スポージを提供する学園機会が高いている。 1 京都には、太平や自動館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学園機会が豊富にある。 2 生涯にわたってはも全体で育む高能と行動が広がっている。 4 子ともを付金の全として社会全体で育む高能と行動が広がっている。 5 原都での移動には、公共交通が便利である。 3 歩いてを持力を変したしていた。 4 子ともを付金の全として社会全体で育む高能を行動が広がっている。 6 社権場の整備や自転車の利用マナーの向上により自転車と歩行者が共存できている。 6 社権場の整備を関するとものの目が生ましている。 9 単近な地域が発展してきている。 1 原都の個性的な可並み最優が発展してきている。 2 身近に対して 6 日本のの同節は対が発展してきている。 2 身近な地域であらの前部地域が発展してきている。 2 身近な地域であるを細い道は、地産や火災などの災害時できている。 2 身近な地域であるを細い道は、地産や火災などの災害時できるいより改善されている。 2 身近な地域であるを細い道は、地産や火災などの災害時が育えている。 2 地域の行きや自治会活動に、設計から後人でいるの地域や実施で管理されている。 2 地域の行きや自治会活動に、設計からは大いる、 3 単近なとこうで防火温に、建サルールが守られている。 2 見がは場ができると部がで着えれ、後のよりない。 2 日本のは関すないできる。 3 市のの通路や橋が、所長の財産している。 2 見がないできる。 2 がはないできるの財産して、大いないできる。 5 節がいり、これの対したいできる。 3 市のの通路を構成が使えている。 3 月がないできるを記がで着した。 5 5 5 5 5 5 5 5 7 5 7 5 7 5 7 5 7 5 5 5 5 5 5 5 5 7			
16 高齢者部組 3 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してらせるまちになっている。			
4 介護サービスや住環境各権などが実上、高齢者が住外房れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。			
6 高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。 1 正しい情報を基に、健康でくりに取り組むひたが増えている。 2 利用しやすく繋れる医療や検診の機関がある。 3 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。 4 公共の場では禁煙が進んでいる。 5 医薬症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。 1 保護者や地域のしないが学校のさまさまな活動い参画するなど、地域ぐみの教育が進んでいる。 2 安全快適な学校施設や最新の政備など、充実した教育環境が整っている。 4 公子ともたちが参加できる。さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。 5 原都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担え関係して、でしている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学型したこが、仕事や社会活動に収立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学型したこが、仕事や社会活動に収立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯におしての目を記れいて、幅広い世代がどもに学々る機会が充実している。 1 京都では、過度な自動車利用を役え、水・こを中心としたライフスタイル(へし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 3 地域での取組において、自動車による洗滞が減っている。 6 社事場の整備や自転車の利用マナーの向上により。自転車と歩行者が共存できている。 1 真物などの日常生活には、徒歩や自動車、公共交通が便利である。 2 日の学地域や繁都駅の周辺は、にぎわいのある健力的な地域である。 1 真がないの日常生活には、徒歩や自動車、公共交通が便利である。 2 日の学地域が繋がわ的になっている。 5 身近な地域が繋がわめになっている。 6 対策場の個性的な可並み最優が充ましている。 2 身近な地域が繋がわめになっている。 1 京都の個性的な可並み最優が表表している。 2 身近な地域が繋がられている。 2 りまなと自身を重なままが、対したいる。 2 りまな地域で、自主のはまちが、以上の公共空間が増えてきている。 5 見いな地域で、自主のはまりに、したの、もいは、大きたいとも、分け深てな参加している。 2 りまな地域で、全をが増えている。 2 が場を必須を定めが増えている。 2 常様は縁が豊かである。 3 財産や火災に強い建物が増えている。 4 投資の手楽はよる名様に対しま、地電・火災などの災害時に被害が大きくならいよう改善されている。 2 京都は縁が豊かである。 3 内の連絡を含むに、以前からもんでいるのとまがはないである。 3 財産をとした教育を含めましている。 4 経路の得るや自治を含む、大きたいといっても利用できる。 2 常様に対しているを含しま物でできるのと対域が使えている。 3 別な地域で変きが減っている。 3 別な地域で変きが減っている。 4 経路や公園などがパランスよく機械といている。 3 別な地域で変きが減っている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などがパラスといりでも、新しく結入している。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などがパラスといいでも、新しく結入している。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 時がまるといれているが増えている。 4 経路やのでなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがな	16 高齢者福祉		
6 高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。 1 正しい情報を基に、健康でくりに取り組むひたが増えている。 2 利用しやすく繋れる医療や検診の機関がある。 3 安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。 4 公共の場では禁煙が進んでいる。 5 医薬症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。 1 保護者や地域のしないが学校のさまさまな活動い参画するなど、地域ぐみの教育が進んでいる。 2 安全快適な学校施設や最新の政備など、充実した教育環境が整っている。 4 公子ともたちが参加できる。さまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。 5 原都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担え関係して、でしている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学型したこが、仕事や社会活動に収立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学型したこが、仕事や社会活動に収立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯におしての目を記れいて、幅広い世代がどもに学々る機会が充実している。 1 京都では、過度な自動車利用を役え、水・こを中心としたライフスタイル(へし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 3 地域での取組において、自動車による洗滞が減っている。 6 社事場の整備や自転車の利用マナーの向上により。自転車と歩行者が共存できている。 1 真物などの日常生活には、徒歩や自動車、公共交通が便利である。 2 日の学地域や繁都駅の周辺は、にぎわいのある健力的な地域である。 1 真がないの日常生活には、徒歩や自動車、公共交通が便利である。 2 日の学地域が繋がわ的になっている。 5 身近な地域が繋がわめになっている。 6 対策場の個性的な可並み最優が充ましている。 2 身近な地域が繋がわめになっている。 1 京都の個性的な可並み最優が表表している。 2 身近な地域が繋がられている。 2 りまなと自身を重なままが、対したいる。 2 りまな地域で、自主のはまちが、以上の公共空間が増えてきている。 5 見いな地域で、自主のはまりに、したの、もいは、大きたいとも、分け深てな参加している。 2 りまな地域で、全をが増えている。 2 が場を必須を定めが増えている。 2 常様は縁が豊かである。 3 財産や火災に強い建物が増えている。 4 投資の手楽はよる名様に対しま、地電・火災などの災害時に被害が大きくならいよう改善されている。 2 京都は縁が豊かである。 3 内の連絡を含むに、以前からもんでいるのとまがはないである。 3 財産をとした教育を含めましている。 4 経路の得るや自治を含む、大きたいといっても利用できる。 2 常様に対しているを含しま物でできるのと対域が使えている。 3 別な地域で変きが減っている。 3 別な地域で変きが減っている。 4 経路や公園などがパランスよく機械といている。 3 別な地域で変きが減っている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などがパラスといりでも、新しく結入している。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などがパラスといいでも、新しく結入している。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 別な地域で変きなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 4 経路や公園などが増えている。 3 別な地域で変さなが増えている。 3 時がまるといれているが増えている。 4 経路やのでなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがなどがな		4	介護サービスや住環境整備などが充実し、高齢者が住み慣れた地域でそのひとらしいくらしを送れている。┃
1 正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。 2 利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。 3 支心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。 4 公共の場では禁煙が進んでいる。 5 読を症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保よれている。 2 安全快適な学校施設や最新の股端など、充実した教育環境が整っている。 3 学校の先生は、世校の先生、保護者や地域のひとしてと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。 5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。 5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。 1 京都には、大学や博物館・神社仏閣・企業、NPOなどが提供する学習機会が第二にある。 2 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。 4 子どもたちか参加できる。まざまな学いやスポーツ、体験活動の機会がある。 5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。 4 子どもを社会の室として社会全体で育立意機と行動が広がっている。 4 学どもを社会の室として社会全体で育立意機と行動が広がっている。 4 学どもを社会の室として社会全体で育立意機と行動が広がっている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 5 助予鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 軽輪場の整備や自転車の利用マナーの両上により、自転車と歩行者が共存できている。 6 軽輪場の整備や自転車の利用マナーの両上により、自転車と歩行者が共存できている。 2 田の子地域の場面と活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の子地域や京都からが発展してきている。 5 身近な地域で、自まがないが発展してきている。 5 身近な地域で、自まがないが発展してきている。 2 身近な地域で、自まがなきないが表が出たいる。 2 身近な地域で、自まがなまがないが表が出たいる。 3 京都のまりや愛着を持てる町並みや風景が進んでいる。 5 見近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のまりや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のまりや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のまりや愛着を持てる町立みや風景がある。 4 身近な地域で、意をが変している。 5 単の企りの事などの自然最景は、美に投かがなる。 4 地域の行事や自治会活動に、規策、地域のできないでいる。 2 東部は最近で空を変がで着ている。 2 東部は最近で空を変ができている。 2 東部は最近で空を変ができている。 2 東部は関係できるでいるとりまがのできる・とりまがをできる。 3 市内の国をを持ちてきるできる連続ができている。 2 東部に対なできるがあるでは表ができている。 3 京都の事を特が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 2 京都に対なできるがあるでまり、のよりでは、の			
2 利用しやすく類れる医療や検診の機関がある。		1	正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えている。
生・医療			
生きない。	【17 保健衛		
4 公共の場では実際で加速へいる。	生•医療		
1 保護者や地域のひとびとが学校のきまざまな活動に参画するなど、地域へるみの教育が進んでいる。 2 安全快適な学校施設や最新の影响など、充実した教育環境が整っている。 3 学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。 4 子どもたちが参加できる、きまざまな学びやスポーツ、体験活動の機会がある。 5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。 3 地域での取組において、帰底い世代がともに学べる機会が充実している。 4 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識とついる。 5 京都なら秋野には、公共交通が使利である。 4 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と対した。 6 日本では、油度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。 7 京都で移動には、公共交通が使利である。 8 世籍場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 6 世籍場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 6 世籍場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 7 財 教育などの日常生まには、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 9 近な地域が整めの10 できている。 9 近な地域が整めの10 できている。 9 近な地域が整めの10 できている。 1 京都の個性的な可かより競技がある。 1 京都の個性的な可かよう観光を化ている。 2 身近な地域で乗りがようなどの最高とが代えている。 2 身近な地域で立める機能を持てる可並みや観異がある。 2 身近に地域が整かである。 1 建物を発棄するときに、建築パールが守られている。 4 身近な地域で空き家が減っている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前が考えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前が与なている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前が与などの受害時に被害が大きくならないよう改善されている。 3 地域や火災に強い機が増えている。 2 京都は地域で空き家が減っている。 2 京都は地域で空き家が減っている。 2 京都は地域で空き家が減っている。 2 京都には文化財を守ら意識が傾付いており、文化財を大きなのがきれている。 3 京都の回りに対なら、大田を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守ら意識路側ができている。 1 京都の国とだが、たりシスと大優に表れ、取りある都市空間が増えいている。 1 京都の国とどが、たりとして、いて、地域で管理されている。 1 京都には文化財を守ら意識路が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 1 京都には文化財を守ら意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 1 京都の場が構なが関ぐしていって、大田を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 1 京都の場がでは、大田を火災などの災害が、大きなが関が関ぐしている。 1 京都の場がでは、大田を火災などの災害が、大きなどの災害が、大きなどの災害が、大きなどの災害が、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きな			
2 安全快適な学校施設や受動の数量など、充実した教育環境が整っている。			
2 安全快適な学校施設や受動の数量など、充実した教育環境が整っている。		1	保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。
3 学校の先生は、他核の先生、保護者や地域のひたびよと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。 4 子どもたちが参加できる、さまざまな学いやスポーツ、体験活動の機会がある。 5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。 3 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。 4 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行びしる。 2 京都での移動には、公共交通が保利である。 2 京都での移動には、公共交通が保利である。 3 歩いてこそ魅力を高喫できるまちとなっている。 6 駐輪場の整備を自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 4 上ちなかや観光地において、自動車にある洗滞が減っている。 6 比輪場の整備を自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 関物などの同学生活には、徒歩や自転車、公共交通が使利である。 2 出地利用と都市機能配置 2 出の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域が魅力的になっている。 5 身近な地域が魅力的になっている。 4 身近な地域が魅力的になっている。 2 身近に持りや受着を持てる可並みや風景がある。 2 身近に持りや受着を持てる可並みや風景がある。 2 身近に持りや受着を持てる可並みを風景がある。 2 身近に持りを受着を持てる可並みを風景がある。 2 地域を新築するときは、建築ルールが与られている。 2 身近な地域である細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きぐならないよう改善されている。 2 人がリアフリー化された建物が増えている。 4 人がリアフリー化された建物が増えている。 4 人がリアフリー化された建物が増えている。 2 人がリアフリー化された建物が増えている。 4 人がリアストと機能を発がしている。 2 京都は経験が豊かである。 3 市内の道路や横が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 人が関係を関係でいる。 2 京都は経験が豊かである。 1 真なも地域で空き家が減っている。 2 京都は経が豊かの場の書がを持たれ、転力ある都市空間が違しいている。 2 京都は経が豊かである。 1 原本の国路とがパらしやすい・南登に大場といる。 1 京都の両川は水がきれい、下、大場と大災などの災害から守る取組が進んでいる。 1 京都の両上では第るに、地域である都木を関係を入している。 1 京都の両上では第るに、地域である都木を関係で見らいできる。 2 京都はは、火災や車がなどが発生した場とに適切に対なし、いきというきに傾切になる。 1 京都の国となどがまたしまが優にあるができる。 2 京都にはない野を持ちに地域であるのの影響がなどが表している。 3 京都の国となどが表しためにないできまが違いにないできまが違いにないますなどが表しためにないますなどが表しためにないますなどが表しためにないますなどが表しためにないますなどが表しためにないますなどの表にないますなどが表しためにないますなどが表しためにないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどの表にないますなどのもなが表にないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのもないますなどのはないませなどのはないますなどのはないなどのはないませなどのはないませなどのはないますなどのはないますなどのはないませなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどのはないますなどの		2	安全快適な学校施設や最新の設備など、 充宝した教育環境が整っている
4 ナともたらか参加できる。さまさまな字のやスポーツ、係販店期の機会がある。 1 京都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にかたって自り学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。 3 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。 4 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。 1 京都では、遺皮な自動専利用を控え、多くできないとしたライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 2 0 歩くまち 3 歩いてこて魅力を満喫できるまととなっている。 4 まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。 5 世市鉄、市バスは、市長生活に役立つにいる。 6 軽輪場・砂磨が自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 1 土地利 用と都市機 第 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域で魅力的になっている。 4 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近な地域で、自主的なまちが見えている。 4 人通りや歴史の地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 2 身近な地域で、自主的なまなが観力でいる。 2 人りブワフリー化された建物が増えている。 2 人りブワフリー化された建物が増えている。 2 人りブワフリー化された建物が増えている。 4 身近な地域で空を変が減っている。 4 身近な地域で空を変が減っている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 2 とがの行事や自治会活動に、迫前から住んでいるひとも、新しく軽入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 1 長く大切に使える各種・前達ている。 2 京都に執が登かである。 2 京都には文化財を子の意識が視かであている。 2 京都には文化財を子の意識が視りいており、文化財を学びを入している。 2 京都には文化財を子の意識が傾けいており、文化財を受けるとのでも取削が進んでいる。 2 京都には文化財を子の養産が損さている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を子の意識が関けいており、文化財を受けなどの後書から守る取組が進んでいる。 3 京都の上下水道は、安全を安心していつでも利用できる。 2 大雨が除っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が除っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都のエア水道は、安全で安心していつでも利用できる。	18 学校教育	3	学校の先生け、他校の先生、保護者や地域のフレンスンと連進して、子どもの教育に取り組んでいる。
5 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立つている。 1京都には、大学や博物館、神社へ関、企業、PAPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。 3 地域での取組において、偏広い世代がとむに学べる機会が充実している。 1京都では、遺底な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移助には、公共交通が使利である。 2 京都での移助には、公共交通が使利である。 3 歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。 4 まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。 5 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 駐輪場を整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 6 財輪場を整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 1 買物などの日常生活には、後まや自転車、公共交通が便利である。 1 買物なが日の目常生活には、たまや自転車、公共交通が便利である。 2 田の字地域や京都駅の周辺は、にきわいのある魅力的な地域である。 1 京都の属性的な可まか升援制できんている。 4 身近な地域が至りからなといいる。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近な地域でとからなの自然風景は、美しく魅力がある。 1 漢物を新愛するときは、建築ルールが守られている。 4 大通りや産史的地のどから権力が助り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 2 対地域にある新愛するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 1 異物を新愛するときは、建築ルールが守られている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 京都は緑が豊かである。 1 東物をから着くを対し、1 以書時に教をが大きくならないよう改善されている。 1 東が自ちをと関などが発生した。 1 次書時に教育とからいるのとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなき面が進んでいる。 2 京都はは水化砂をかっかある。 1 京都の主を持ている。 1 東が良などの変音から守る取組が進んでいる。 2 京都はは水化砂をから着を入り、変しな地域で多くを対している。 2 京都はは水化砂をかったり、割前のまり、大りたくなのでものも利用できる。 2 大物が除っても、身近な地域で浸を入れの被害は起こっていない。 3 京都の上下水道は、安全で安心していっでも利用できる。 2 大物が除っても、身近な地域で浸水の被害は起こっている。 5 京都の上下水道は、安全で安心していっでも利用できる。		ļ	フレーは、IEAV/ルエ、休取日 1 / 2000 / 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1
1 東都には、大学や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。 2 生涯にわたって自ら学習化たことが、仕事や社会活動に役立っている。 3 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。 4 子どもを社会の堂として社会全体で育む意識と行動が広がっている。 1 京都では、遺度な自動車利用を控え、歩ぐとを中心と比ライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 3 歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。 4 まちなかや観光地において、自動車による洗滞が減っている。 5 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 駐輪側の警備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の学地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域が魅力的になっている。 5 身近に地域で、自主的なまちづり活動が進んでいる。 2 身近に誇りや愛素を持てる町並みや風景がある。 3 京都のもしや文化を伝えている。事業が継承されている。 2 身近に誇りや愛素を持てる町並みや風景がある。 1 東都の個性的な可並み景観が守られている。 2 身近に勢りや愛素を持てる町並みや風景がある。 1 東都の個性的な可並み最影がおったいる。 2 身近に歩かとの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新愛するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアアリー化された建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 2 地域の行事や自治を動し、以前から住んでいるの。 2 地域の行事や自治を動し、以前からとんでいる。 2 地域の行事や自治を動し、以前からさんでいる。 2 地域の行事や自治を動し、以前からとんでいる。 2 地域に対象を観力できる道路を開かできている。 2 京都には女化財をする意識が保持いており、文化財を火災などの災害から守るも取組が進んでいる。 3 市内の道路や構然、市民の財産として、よい状態で管理されている。 2 京都には文化財を全な意識が保持にいており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 市内の道路や構が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 2 京都には文化財を守る意識を構え、魅力ある都市空間が増えいている。 3 市内の道路や構が、市民の財産として、地域で多力ある都市空間が増えいている。 3 市内の道路や構が、市民の財産として、とい対し対している。 5 防災を大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い、大い対し大いため、大い財とい大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大		<u>#</u> .	丁こりにりが参加しても、ころであるチンドへハーノ、伊服カリリ(成五川のも)
2 生涯にかたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。		5	京都ならではの伝統文化や環境の教育が、任会を担える人材の育成に使立っている。
3 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。		<u> 1</u>	京都には、大字や博物館、神社仏閣、企業、NPOなどが提供する学習機会が豊富にある。
3 地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。	10 片涯学羽	2	生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。
4 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。 1 京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル(くらし方、生き方)が大切にされている。 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 3 歩いてこそ能力を満喫できるまちとなっている。 4 まちなかや観光地において、自動車による送帯が減っている。 5 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 21 土地利 2 田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域が振力的になっている。 5 身近な地域が、自力的になっている。 2 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近な地域がありになっている。 2 身近な地域がありになっている。 2 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近に跨りや愛素を持てる町並みか配風景がある。 3 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電社が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 理物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 1 長大切に使えるを記しまれた建物が増えている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 1 長大切に使えるを記しまったい。 3 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長大切に使える住宅が増えている。 2 京都には対い地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 市内の道路や権が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 1 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 市内の道路や権が、市民の財産として、北い状態で管理されている。 1 京都には文とりまをうきを動してきる。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の戸川は水がきれいて、水辺に親しみやすい、4 水道が降かてより、海乳とないしてし、続けることができる。	「3 工件子目	3	地域での取組において、幅広い世代がともに学べる機会が充実している。
1		4	子どもを社会の宝と で社会全体で育む意識と行動が広がっている。
20 歩くまち 2 京都での移動には、公共交通が便利である。 3 歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。 4 まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。 6 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 まかのまるの新かまめ、新のまちの南が地域が発展してきている。 5 身近な地域で、直主的なまうづくり活動が進んでいる。 5 身近な地域で、直主的なまうづくり活動が進んでいる。 1 京都の個性的な町車分景観が守られている。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 2 2パリアフリー化された建物が増えている。 2 2パリアフリー化された建物が増えている。 2 2パリアフリー化された建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から性んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 2 京都に縁が豊かである。 2 京都に縁が豊かである。 1 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 2 京都に縁が豊かである。 1 身近な地域で空き家が減っている。 1 り近なとこうである。 1 身近なところである。 1 身近なところである。 1 身近なところである。 1 身近なところである。 1 身近なところである。 1 身近なところで発生した場合に適切に対応し、いさというときに頼りになる。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降つても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいて、水辺に親しみやすい、水道に続けるとができる。 5 京都の上下水道は、経営が安定してい、将来も安心して使い続けるとができる。			
20 歩くまち			
4 まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。 1 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域で、自主的なまちづり活動が進んでいる。 2 身近に勝りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近に勝りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近に勝りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のくらしや文化を伝えている京野家が継承されている。 4 力通いを歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 4 身近な地域である細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 4 身近な地域で変きなが増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるで必要を対している。 3 身近な地域で変き家が減っている。 4 仮所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 2 京都には女化財を守る意識が高まり、出火防止の取組が進えいている。 2 京都には女化財を守る意識が高まり、出火防止の取組が増えている。 2 京都には女化財を守る意識が高まり、出火防止の取組が増えている。 1 身近なところで別、常まの財産として、よい状態で管理されている。 2 京都には女化財を守る意識が高まり、出火防止の取組が増えている。 1 身近なところが火意識が高まり、出火防止の取組が増えている。 1 身近なところが火意識が高まり、出火防止の取組が追えている。 1 京都の上で火きなどが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 2 京都には女化財を守る意識が高まり、出火防止の取組が追えている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい、 4 水道水がおいしくなると、京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい、 4 水道が安でできる。 5 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい、 4 水道が安でできる。 5 京都の河川は水がまれいで、水辺に親しみやすい、 4 水道が安でできる。 5 京都の河川は水がきれいで、水道に銀りをすい、 5 京都の河川は水がきれいで、水道に扱りですい。 5 京都の河川は水がきれいで、水道に扱りですい。 5 京都の同じないないないないないないないないないないないないないないないないないないない			
4 まらなかで観光地において、目動単による渋滞か減っている。 5 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。 6 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の字地域で京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域が魅力的になっている。 5 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 2 身近に時りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都の(もしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 1 建砂を新葉するときは、建築ルールが守られている。 1 建砂を新葉するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 東がを新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 2 がリアフリー化された建物が増えている。 2 がリアフリー化された建物が増えている。 3 身近な地域である総い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 3 身近な地域できなきが高いに、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空を家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 2 京都には女と財を含る遺路網ができている。 2 京都には女化財を守る意識が橋付いており、女化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には女化財を守る意識が橋でいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には女化財を守る意識が横付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 防災意識の向上とともに、地域くるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいくなるなど、京都の後で見水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道が関ロに、水道、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道が変にしており、横下まも安心して使い続けることができる。 5 京都の河川は水がきれいて、水辺に親しみやすい。 5 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 5 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 5 京都の河川は水がきれいで、水道に観りがないできないが、 5 下が、	20 歩くまち		
6 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。 1 物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。 2 田の字地域や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。 3 京都のまちの南部地域が発展してきている。 4 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 1 京都の個性的な町並み景観が守られている。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新装するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 1 建物を新装するときは、建築ルールが守られている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 代別に使える往宅が増えている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 長大切に使える住宅が増えている。 3 が成りに強いをある組い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 身近な地域に忍る権配が遭えている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 1 京都は緑が豊かである。 1 京都は緑が豊かである。 1 京都には文化財を予る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を予意識が限けいている、 1 京都には文化財を予意識が展けいており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつ。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の川川は水がされいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道は、日にのよりにできる。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の川川は水がされいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道は、日にのよりにできる。 5 京都の川川は水がされいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。 5 京都の川川は水がされいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるみのど、京都は、経りができる。 5 京都の川川は水がされいで、水道に対している。 5 京都の川川は水道には、水道には、水道には、水道には、水道には、水道には、水道には、水道には			
1			
1		6	駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。
21 土地利			
用と都市機	21 十批利		
能配置 4 身近な地域が魅力的になっている。 5 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。 1 京都の個性的な町並み景観が守られている。 2 身近に跨りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 2 京都は緑が豊かである。 2 京都は緑が豊かである。 2 京都は緑が豊かである。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が相付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 5 防災意識の同とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、安全で安心してト水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、安全で安心して下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、安全で安心してト水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、安全で安心して中い続けることができる。			
1 京都の個性的な町並み景観が守られている。			
1 京都の個性的な町並み景観が守られている。 2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のぐらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 2 世別を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 3 身近な地域に空き家が減っている。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 5 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 5 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	能能量		
2 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。 3 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の川川は水がされいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道は、安全で接しており、将来も安心して使い続けることができる。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
22 景観 3 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。 4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやの大い。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 4 身近な地域で空き家が減っている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいて、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		2	身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。
4 大通りや歴史的地区から電柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。 5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。 1 建物を新築するときは、建築ルールが守られている。 2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道はしみですい。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	22 景観	3	京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。
5 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。		4	大通りや歴史的地区から雷柱が取り除かれ、美しい公共空間が増えてきている。
23 建築物			
2 パリアフリー化された建物が増えている。 3 地震や火災に強い建物が増えている。 4 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。 1 長く大切に使える住宅が増えている。 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔てなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがパランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
24 住宅 3 地震や火災に強い建物が増えている。			
3 地震や火災に強い建物が増えている。	23 建築物		
1 長く大切に使える住宅が増えている。		<u> 3</u>	地震や火災に強い建物が増えている。
24 住宅 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 25 道と緑 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 25 道と緑 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
24 住宅 2 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔でなく参加している。 3 身近な地域で空き家が減っている。 4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 25 道と緑 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 25 道と緑 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		1	長く大切に使える住宅が増えている。
24 任七 3 身近な地域で空き家が減っている。	04 /> 	2	地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひとも、新しく転入してきたひとも、分け隔てなく参加している。
4 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。 1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	24 任モ		
1 災害時も安全に移動できる道路網ができている。 2 京都は緑が豊かである。 3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		ļ _Ž .	ひたりでいるとようのの #3/1 2 2 20 20
2 京都は緑が豊かである。			
3 市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
3 市内の道路や橋か、市民の財産として、よい状態で管理されている。 4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	25 道と緑	<u> 2</u>	京都は「旅か豊かである。
4 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。 1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		3	市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。
1 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。 2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		4	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えいている。
2 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	26 消防·防災	1	身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。
26 消防・防災 3 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。 4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。 5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
4 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。		 	小印にはヘルガミンの心明が低けいてのス、ヘルガミへ火なこの火百かりすの収値が低かている。 当性異け、小災力重サかどが発生 た担本に済却に対応し ハギレバスレキに結けにかて
5 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。 1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
1 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。 2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
2 大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。		1	京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。
27 くらしの水 3 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。 4 水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。 5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。			
4/ \5000	,	3	京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。
5 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	27 くらしの水	ļ _Ž .	水道水がおい (かろたど 古都の上下水道サービフけ向上) ている
		-	小児ハルで30~してるでなこ、不即ツエーハビソーにへは叫上している。
6 水や水辺境境か大切にされるなと、水と共に生さる意識か局まっている。			
		<u> 6</u>	小ヤ小辺塚現か天切にされるなど、水と共に生さる恵識か局まっている。

むすびに

3年間のデータを得たことから、今回の分析では、世代別・性別や政策分野ごとの特徴をより詳細に見ることができた。特に「市民生活とコミュニティー」の分野における中年層男性の生活実感の低さ、「人権・男女共同参画」における男女間の意識の差は特徴的であったと言える。また、自由記述の分析では昨年度と比べて、自転車に関わる問題が多く出てきており、自転車マナーに対する市民の関心の大きさがうかがえる。

「未来の京都創造研究事業」としては、今回の分析結果を調査・研究に活用し、短期的には事業の改善へ、長期的には未来の京都づくりに向けた政策の企画・立案に貢献していきたい。

最後に、「市民生活実感調査」の分析においては、経年変化を見ることと、より多くの 回答数を得ることで詳細な分析が可能となる。そのため、「市民生活実感調査」の継続と より多くの回答数が得られる取組を期待したい。

分析体制

25年度の分析は公益財団法人 大学コンソーシアム京都の専門部会である「都市政策研究会」の協力を得て、以下の体制で実施した。

〇事務局:

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 シンクタンク事業

- ・プロジェクト・マネージャー 水田哲生, 博士(政策科学)
- サブ・マネージャー 鳴海裕丈

Oアドバイザー:

- ·京都大学 人間·環境学研究科 准教授 佐野 亘, 博士(人間·環境学)
- ·京都文教大学 総合社会学部 准教授 山本真一,博士(経済学)
- ※両名とも「都市政策研究会」委員

〇アドバイザー兼実務担当者:

- •同志社大学 政策学部 嘱託講師 增田知也,博士(政策科学)
- ※「都市政策研究会」委員の推薦

〇実務担当者:

- •同志社大学 総合政策科学研究科 博士課程(前期課程) 石嶋知哉
- ※「都市政策研究会」委員の推薦

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 「未来の京都創造研究事業」

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル

キャンパスプラザ京都 (京都市大学のまち交流センター)

TEL: 075-708-5803FAX: 075-353-9101

大学コンソーシアム京都 未来の京都

検索